

2026年合格目標

# 中小企業診断士

受講ガイド〔初学者向けコース用〕

2025.9.1改訂版

1次「財務・会計」先行アプローチ講義

1・2次ストレート本科生PLUS

1・2次ストレート本科生

1・2次速修本科生

1. 5年本科生

(25・26年合格目標) (26・27年合格目標)

1次本科生

1次速修本科生

1次パック生〔基本編〕/〔直前編〕

1次単科生〔基本+直前編〕/〔基本編〕/〔直前編〕

2次ファイナル本科生

2次ファイナル本科生〔2次事例IV特訓なし〕

**TAC**

# 中小企業診断士本試験について

## ■必ずご確認ください

中小企業診断士本試験は毎年1回、例年は第1次試験が8月上旬、第2次試験は筆記が10月下旬、口述が1月下旬に実施されます。以下、令和7年度を参考にしてご案内いたします。令和8年度では異なる可能性もありますので、予めご承知おきください。

令和7年度よりインターネットのみによる受験申込に変更されており、印刷された試験案内の配付はありません。

なお、TACでは受験申込の代行は行っておりません。受験申込手続は必ずご自身で行っていただきますようお願い申し上げます。

## ◎ 受験申込受付期間 (令和7年度参考)

※中小企業診断士協会連合会のHPに掲載される試験申し込み専用サイトで申込手続きを行い、期限内に受験手数料等の支払い手続きを終了する必要があります。

第1次試験 令和7年4月24日(木)～5月28日(水)

第2次試験 令和7年9月2日(火)～9月22日(月)

## ◎ 受験料 (令和7年度参考)

第1次試験 14,500円(非課税) 第2次試験 17,800円(非課税)

※受験料に加えて、オンライン決済にかかる事務手数料 525円(税込)の支払いが必要です。

## ◎ 試験日 (令和7年度参考)

第1次試験 令和7年8月2日(土)・8月3日(日)

第2次試験 筆記 令和7年10月26日(日)／口述 令和8年1月25日(日)

## ◎ 受験資格 (令和7年度参考)

制限なし

## ◎ 合格発表 (令和7年度参考)

第1次試験 令和7年9月2日(火)

第2次試験 筆記 令和8年1月14日(水)／口述 令和8年2月4日(水)

※第2次筆記試験は、「口述試験を受験する資格を得た方の発表」

◆中小企業診断士試験に関する詳細は下記までお問い合わせください。

一般社団法人 中小企業診断士協会連合会 試験係

〒104-0061 東京都中央区銀座1-14-11 銀松ビル5階

電話 03-3563-0851(代) ホームページ <https://www.j-smeca.jp/>

# はじめに

この度は、TAC中小企業診断士講座をご受講いただきまして誠にありがとうございます。本書は、当講座を受講される方のため教材や各種フォローサービス等に関するご案内をまとめた“講座別受講ガイド”です。別途お渡ししております『TAC利用ガイド（別冊）』と併せてご覧ください。また、受講終了までご利用いただくものとなります。

TACは合格のために必要な知識や受験テクニックを効率よく受講生の皆様に提供することにより、最短距離で合格していただくことを第一の目的と考えております。

したがって、本書はこれから中小企業診断士試験合格を目指すにあたり、受講生の皆様にどのように当講座を利用していただくか、その効果的な活用方法を項目ごとに要約しております。

皆様が合格を勝ち取れますよう、TAC中小企業診断士講座の講師・スタッフ一同、精一杯サポートさせていただきます。

TAC中小企業診断士講座

# 中小企業診断士講座 受講ガイド

## CONTENTS

### 通学メディア・通信メディア共通編

1. 会員証について	P 1
2. 講義・教材について	P 3
3. 演習・答練について	P 7
4. 公開模試について	P 11
5. 質問・相談について	P 12
6. 各種フォロー・サービス対応表	P 13
7. 各種サービス提供期限一覧	P 15
8. 教育訓練給付制度について	P 16
9. 診断士講座オリジナルサービス	P 20

### 教室講座編

1. 欠席した場合のフォロー	P 25
2. もう一度講義を受講したい場合	P 26
3. 答案の採点および成績発表について	P 27
4. 教材配布予定・Web 講義配信予定	P 29

### ビデオブース講座編

1. 答練等の受講、答案の採点および成績発表について	P 31
2. 答練・演習の教室振替について	P 32
3. もう一度講義を受講したい場合	P 32
4. 教材・レジュメのお渡しについて	P 32

### 通信メディア（Web／オンラインライブ）編

1. 教材発送について	P 33
2. 答案添削の流れ	P 34
3. 学習サポート機能	P 37
4. スクーリング〔本科生限定〕	P 38
5. 答案返却について	P 39
6. オンラインライブ通信講座の受講について	P 41

### オリエンテーション編

1. 中小企業診断士試験について	P 42
------------------	------

### 日程表

1. 日程表について	P 54
------------	------

### 巻末

1. NEXT割引
2. お問い合わせ先一覧
3. TAC MAP

### マイページ登録について

TAC WEB SCHOOL マイページは、すべての受講生の皆様に登録していただく必要がございます。登録をまだ行われていない場合は、[\[http://portal.tac-school.co.jp\]](http://portal.tac-school.co.jp)にアクセスし、→[ログインページへ]→[マイページ登録]と進み、画面の案内に従って登録を完了させてください。

### 以下については別冊「TAC利用ガイド」またはTAC WEB SCHOOLをご覧ください。

### 通学メディア・通信メディア共通編

1. TAC利用上の注意事項
2. 講座開始日と受講期間
3. 会員証について
4. TAC WEB SCHOOLについて
5. 施設利用上の注意事項
6. 自習室について
7. 日程変更について
8. 災害時の対応・行動
9. 教材を紛失した場合
10. 住所等を変更される場合 ※
11. 在籍証明書・履修証明書について

### 教室講座・ビデオブース講座編

1. 教室講座受講上の諸注意
2. 欠席した場合の教材受け取り
3. ビデオブース講座受講上の諸注意
4. ビデオブース利用方法

### 通信メディア編

1. 教材発送について
2. WEBでの受講方法
3. TAC WEB SCHOOLでの受講方法
4. Schoo Swingでの受講方法

※住所等を変更される際にご提出いただく「変更届出書」は「TAC利用ガイド」巻末に収録しています。

# 中小企業診断士講座

REGISTERED MANAGEMENT CONSULTANT

## **REGISTERED MANAGEMENT CONSULTANT**

### **通学メディア・通信メディア共通編**

教室講座

ビデオブース講座

Web通信講座

オンラインライブ通信講座

**TAC**

# 1 会員証について

TAC受講生となった方には、「会員証」を発行いたします。

会員証は、皆様がTACの受講生であることを証明する大切なものです。TACご利用の際には、常に携帯していただき、以下の注意事項を遵守してください。

## 1. 会員証について

- (1) 会員証は本人のみに有効であり、他人へ譲渡または貸与することはできません。
- (2) 会員証を紛失した場合には、受付窓口にて再発行いたします。なお、再発行には、別途手数料がかかります。この場合、再発行日以前の講義は欠席分を含めて、日程表どおりに出席したものとして扱います。また、テキスト等の教材もお渡し済みとして処理いたします。
- (3) 会員証を不正に利用させた場合、並びに不正に利用した場合には、当該コース正規受講料の3倍の料金を申し受けます。
- (4) 会員証に表示されている有効期限を過ぎると講義の受講、教材の受取、フォロー制度や自習室の利用は一切できません。

## 2. 会員証はこのような場面で使用します

- (1) 教室講義への出席時やビデオブースを利用する時には、会員証を提示してください。教室で講義を受ける時は、会員証は必ず机の上に出しておいてください。講師・スタッフが専用スキャナーによる会員証記載の二次元バーコードのスキャンを行います。（通信メディアの方がスクーリングを利用する際も同様です）。  
ビデオブースを利用する場合には、視聴前に受付に会員証を提示し教材をお受け取りください。

※もし会員証を忘れてしまったら…

講義を受ける前に、受付にて「仮受講証」の交付を受けてください。

「仮受講証」の交付がない場合には、講義の受講ができません。

- (2) 教材を受け取る際には、会員証を提示してください。テキスト等使用教材につきましては、受付にてお渡しします。
- (3) クラス振替出席フォロー・クラス重複出席フォローをご利用の際は、会員証をお持ちください。専用スキャナーによる会員証記載の二次元バーコードのスキャンを行います。
- (4) 自習室利用の際にも会員証を携帯してください。スタッフが会員証の確認・スキャンを行う場合があります。  
また、お申込みのコースによっては自習室をご利用できない場合があります。詳しくは、『TAC利用ガイド（別冊）』の通学メディア・通信メディア共通編「**6**自習室について」をご確認ください。

### **3. 会員証の有効期限**

- (1) 会員証には、有効期限が表示されています。TACサービスのご利用は、すべて有効期限内に完了してください。また、自習室のご利用も有効期限内となります。
- (2) 会員証の有効期限を過ぎた場合には、教材の受け取りなど「該当する目標年度の各種サービス」のご利用は一切できなくなりますのでご注意ください。
- (3) 会員証の有効期限は、TACサービスの利用期限となります。受講契約の解約・返金時に算定の基礎となる受講期間とは異なりますのでご注意ください。

### **4. 会員証の書替手続き**

お申込みの講座・登録コースによっては、会員証の書替手続き（模擬試験の受験票発行など）が必要となる場合があります。詳しくは専用の案内書をご確認いただくか、受付窓口にてご確認ください。

### **5. 会員証を紛失した場合**

- (1) 受付窓口で再発行いたします。その際、①「身分証明書（運転免許証など）」②「証明写真（3cm×2.4cm。紛失した会員証の枚数+1枚）」③「印鑑」をご用意ください。
- (2) 再発行の際は、再発行手数料【会員証1枚につき500円（税込）】がかかります。
- (3) 再発行日以前の講義は欠席分を含めて、登録コースの日程表どおりに出席したものとして扱い、教材はお渡し済みとして処理いたします。  
また、各講座の無料再受講制度についてはご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。
- (4) 再発行会員証のお渡しは申請書受取日から原則3日後となります。

## 2 講義・教材について

### 1. 講義一覧 (2025年6月1日現在)

\*変更になる場合がございます

講義名		講義内容	1次 財務 会計 先行 ア プロ ト 講義	1・ 2次 ストレート 本科生 PLUS	1・ 2次 ストレート 本科生	1.5年 本科生 ( 25 ・ 26 年 目標)	1.5年 本科生 ( 26 ・ 27 年 目標)	1次 本 科 生	1次 速 修 本 科 生	1次 パ ック 生 〔 基 本 編 〕	1次 パ ック 生 〔 直 前 編 〕	1次 単 科 生 〔 基 本 編 〕	1次 単 科 生 〔 直 前 編 〕	2次 フ アイ ナル 本 科 生 〔 IV 特 訓 なし 〕
入門編	1次「財務・会計」先行アプローチ講義	頻出領域に絞ったインプットとアウトプットを並行して実施します。早期受講により1次「財務・会計」と2次「事例IV」のアドバンテージを得られます。	● ● ※											
基本編	基本講義	基本編のメイン講義です。各科目の内容・重要ポイントを、基本テキストを中心とした講義で理解してください。		● ●		● ▲	●			●		△	△	
	1次養成答練	基本講義の復習として科目毎に行う答案練習です。1次試験対策の拵一式答練となります。		● ●	● ●	● ▲	● ●			● ●		△	△	
	2次基本講義	ストレート合格をより確かなものにするため、2次試験対策特別講義です。2次試験で必要となるスキル（読解力・記述力）について、その内容とマスター方法を解説します。		● ●	■ ■	●								
	2次基本演習	2次基本講義で学んだ知識とスキルをTACオリジナル問題で確認します。		■ ■	■ ■	■ ■								
	2次過去問演習①～④	実際の本試験問題を題材に各事例の出題内容を徹底分析するとともに、どのように解答すればよいか、解法テクニックも交えながら解説します。		■ ■	■ ■	■ ■								
	2次過去問演習⑤～⑧					■								
	2次実力チェック模試	本試験と同形式で実施する早期の模擬試験です。習得度の把握に役立ちます。					●							
	1次速修講義	基本テキストを使用し、頻出テーマに絞って解説します。頻出論点以外は自己学習となります。				●				●				

講義名		講義内容												
		1次財務・会計 先行アプローチ講義	1・2次ストレート本科生 PLUS	1・2次ストレート本科生	1・2次速修本科生	1.5年本科生(25・26年目標)	1.5年本科生(26・27年目標)	1次速修本科生	1次本科生	1次パック生(基本編)	1次単科生(基本+直前編)	1次単科生(基本編)	1次単科生(直前編)	2次ファイナル本科生(IV特訓なし)
1次直前編	1次完成答練	出題領域や難易度等、1次本試験を想定した問題を提供します。アウトプットトレーニングでレベルアップを図ります。	●	●	●	●	▲	●	●	●	△	△		
	1次公開模試	本試験と同形式で、全国一斉に実施する模擬試験です。これまでの学習の成果を試す、総仕上げの答案練習です。	●	●	●	●	●	●	●	●				
	1次最終講義	1次試験対策の最後の講義です。講師が伝える最新情報が本試験でも役立ちます。	●	●	●	●	▲	●	●	●	△	△		
2次直前編	2次直前講義	2次本試験を解答するために必要な知識の整理を行います。	●	●	●	●							● ●	
	2次直前演習	2次本試験を想定したレベルの問題演習を通して、合格のための総仕上げを行います。	●	●	●	●							● ●	
	2次公開模試	1次公開模試と同様、全国一斉に実施する模擬試験です。	●	●	●	●							● ●	
	2次事例IV特訓	事例IVの典型的な問題を繰り返し解き、基本的な計算処理手順の定着と計算力の維持を図ります。											●	

各コースで実施する講義に●印がついています。

2次ファイナル本科生、2次ファイナル本科生（2次事例IV特訓なし）は、カリキュラムが変更となる場合があります。

※1・2次ストレート本科生PLUSの1次「財務・会計」先行アプローチ講義は、通学生もTAC WEB SCHOOLでの受講となります。教室講座・ビデオブース講座での受講も可能です（教材はご自宅に郵送します）。

▲は「経営情報システム」「経営法務」「中小企業経営・政策」の3科目のみとなります。

△はお申込みの科目のみとなります。

■は全メディアTAC WEB SCHOOLでの受講となります。

TAC WEB SCHOOLで受講いただく講義の配信日程については、ホームページ掲載の日程表でご確認ください。

## 2. コース別配布教材一覧 (2025年6月1日現在)

\*変更になる場合がございます

講義名		教材名		1次 財務・会計 先行アプローチ講義	1・2次ストレート本科生 PLUS	1・2次速修本科生	1.5年本科生(25・26年目標)	1.5年本科生(26・27年目標)	1次本科生	1次速修本科生	1次パック生(基本編)	1次単科生(基本+直前編)	1次単科生(直前編)	2次ファイナル本科生	2次ファイナル本科生(IV特訓なし)
受講ガイド(TAC WEBSCHOOL上に掲載)※当ガイド				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
入門編	1次「財務・会計」先行アプローチ講義	1次「財務・会計」先行アプローチテキスト		●	◆										
基本編・速修編	基本講義/速修講義	基本テキスト(7冊)		●	●	●	●	●	▲	●	●	●	△	△	
		講義サポートレジュメ(7冊)		●	●	●	●	●	▲	●	●	●	△	△	
		トレーニング(7冊)		●	●	●	●	●	▲	●	●	●	△	△	
	1次養成答練	1次養成答練(7回)		●	●	●	●	●	▲	●	●	●	△	△	
	2次基本講義	2次基本テキスト(1冊)		●	●	■	●								
	2次基本演習	2次基本演習(4回)		■	■	■	■								
	2次過去問演習①~④	2次過去問演習(4回)		■	■	■	■								
	2次過去問演習⑤~⑧	2次過去問演習(4回)						■							
	2次実力チェック模試	2次実力チェック模試					●								
1次直前編	その他(自習用)	1次過去問題集(7冊)		○	○	○	○	○	◇	○	○	○	□	□	
		2次再現答案分析レジュメ(R3~6)※デジタル教材のみ		○	○	○	○								
		2次再現答案分析レジュメ(R7)		○	○	○	○								○ ○
		2次過去問題集(1冊)		○	○	○	○								○ ○
	1次完成答練	1次完成答練(14回)		●	●	●	●	●	▲	●	●	●	△	△	
2次直前編	1次公開模試	1次公開模試(問題+解答)		●	●	●	●	●	●	●	●	●			
	1次最終講義	1次最終講義レジュメ(7冊)		●	●	●	●	●	▲	●	●	●	△	△	
	2次直前講義	2次直前テキスト		●	●	●	●	●					●	●	●
	2次直前演習	2次直前演習(12回)		●	●	●	●	●					●	●	●
	2次公開模試	2次公開模試		●	●	●	●						●	●	●
2次事例IV特訓	2次事例IV特訓(6回)												◆		
	2次事例IVの解き方 第三版												◆		

各コースで配布する教材に●印がついています。

- ① テキスト・トレーニング・レジュメは受付にて、答練・演習は教室（ビデオブース講座は受付）にて配布します。  
② 教材の保管期間は2026年10月31日までとなります。教材の請求は期間内にお願いします。

◆は、通学生・通信生を問わず、ご自宅に教材をお送りします。

◆は「経営情報システム」「経営法務」「中小企業経営・政策」

▲は「経営情報システム」「経営法務」「中小企業経営・政策」の3科目のみとなります。  
△はお申込みの科目分のみとなります。

△□はお申込みの科目のみとなります。  
○△□は自習用教材として配布します。

□□□□は自習用教材として配布します。(□□□□は「経営情報システム」「経営法務」「中小企業経営・政策」の3科目のみとなります。)

■通学生の方は教材を受付にてお渡しします。通信生の方は、送付されます。

各教材の正誤表は、TAC WEB SCHOOL の「正誤情報」に隨時掲載いたしますので、ご確認ください。

詳細は p.21 「93. TAC WEB SCHOOL の掲載情報について」をご参照ください。

### 3. データ等での提供教材一覧

★下記の教材は、TAC WEB SCHOOL にてデータでご利用いただくことができます。

★ご利用いただけるのは、ご受講コースで配付される対象教材のみです。

教材名	TAC WEB SCHOOL マイページ [学習サポート] 内の掲載カテゴリ		
	※1 デジタル教材	※2 WEBトレーニング	教 材
基本テキスト	●		
トレーニング		○ ※本科生のみ	
1次過去問題集		○ ※本科生のみ	
1次最終講義レジュメ	●		
2次直前テキスト	●		
2次再現答案分析レジュメ	●		
1次公開模試（[復習用] 問題）			●
2次基本演習（[復習用] 問題・解答用紙）			●
2次過去問演習（[復習用] 問題・解答用紙）			●
2次直前演習（[復習用] 問題・解答用紙）			●
2次公開模試（[復習用] 問題・解答用紙）			●
2次事例IV特訓（[復習用] 問題・解答用紙）			●

※1 デジタル教材の閲覧期限は、2026年9月30日（水）までとなります。

※2 WEB トレーニングは、パック生・単科生はご利用いただけません。

TAC WEB SCHOOL での掲載場所、ご利用方法詳細については、「**9 3. TAC WEB SCHOOL の掲載情報について**」(p.21～) を参照してください。

### 3 演習・答練について

1次答練や2次演習の実施方法は、種類によって異なります。採点方法と答案返却方法も合わせてご確認ください。

#### ◆実施答練・演習一覧（2025年6月1日現在）

\*変更になる場合がございます

答練・演習名	科目内容	解答時間	返却方法		
			教室	ビデオブース	通信 Web／オンラインライブ
1次養成答練	経営・財務・運営・経済・情報・法務・中小	60分	コンピューターによる採点を行います。 TAC 到着後、個人別成績表を TAC WEB SCHOOL の【学習記録】→【成績表】に掲載します（マークシートは返却いたしません）。		
★2次基本演習 ★2次過去問演習	事例I・事例II・事例III・事例IV	80分	講師による添削を行います。 答案は TAC 到着後、添削済答案を TAC WEB SCHOOL の【学習記録】→【成績表】に掲載します（全体成績表の掲載、答案の返却はいたしません）。		
1次完成答練	経営・財務・運営・経済・情報・法務・中小	60分	コンピューターによる採点を行います。 TAC 到着後、個人別成績表を TAC WEB SCHOOL の【学習記録】→【成績表】に掲載します（マークシートは返却いたしません）。		
2次直前演習	事例I・事例II・事例III・事例IV	80分	講師による添削を行います。 答案は TAC 到着後、添削済答案、得点データ（全体成績表）を TAC WEB SCHOOL の【学習記録】→【成績表】に掲載します（答案の返却はいたしません）。		
2次事例IV特訓	事例IV	60分	自己採点となります。		

★は1・2次ストレート本科生 PLUS、1・2次ストレート本科生、1・2次速修本科生、1.5年本科生（25・26年目標）のみ

#### 科目の略称

経営：企業経営理論／ 財務：財務・会計／ 運営：運営管理／ 経済：経済学・経済政策

情報：経営情報システム／ 法務：経営法務／ 中小：中小企業経営・政策

1次答練や2次演習の解答は、必ずBまたはHBの黒の鉛筆またはシャープペンシルをご使用ください。  
※答案については必ず原本をご提出ください（コピー不可）。

## 1. 1次養成答練 各科目1回実施

基本講義／速修講義が終了するたびに、それまでの学習範囲について復習をかねて実施します。「基本事項を主体としてテキストの記述内容が理解できているか」を客観的に測るのが養成答練の役割ですので、積極的に受講するようしてください。

〔実施時間〕：

解答制限時間は60分です。教室講座、オンラインライブ通信講座の場合は、通常の2時間半(150分)の講義時間内に問題を解きます。休憩をはさみ、養成答練の解説講義を行います。ビデオブース講座、Web通信講座の場合は、問題を解いてから、解説講義を受講してください。

〔解答形式〕：

マークシート方式で実施します。

〔答案について〕：

コンピューターによる採点を行います。教室講座の方は講師へ、ビデオブース講座の方は校舎の窓口へ、オンラインライブ通信講座、Web通信講座の方は郵送でご提出ください。TAC到着後、個人別成績表をTAC WEB SCHOOL〔学習記録〕→〔成績表〕に掲載します(マークシートは返却いたしません)。

## 2. 2次基本演習 全4回(各事例1回) 全メディア TAC WEB SCHOOLで受講

※1・2次ストレート本科生PLUS、1・2次ストレート本科生、1・2次速修本科生、15年本科生(25・26年目標)のみ

2次基本講義で学んだ知識とスキルをTACオリジナル問題で確認します。

〔実施時間〕：

解答制限時間は80分です。問題を解いてから、解説講義を視聴してください。

〔解答形式〕：

記述方式で実施します。

〔答案について〕：

講師による添削を行います。教室講座、ビデオブース講座の方は校舎の窓口へ、オンラインライブ通信講座、Web通信講座の方は郵送でご提出ください。

TAC到着後、添削済答案をTAC WEB SCHOOL〔学習記録〕→〔成績表〕に掲載します(答案の返却はいたしません)。

## 3. 2次過去問演習 全メディア TAC WEB SCHOOLで受講

※1・2次ストレート本科生PLUS、1・2次ストレート本科生、1・2次速修本科生、15年本科生(25・26年目標)のみ

実際の2次本試験過去問題を解いた後に、各事例の出題内容分析、解法テクニックの解説を視聴し、答案作成のプロセスを体得します。

〔実施時間〕：

解答制限時間は80分です。問題を解いてから、解説講義を視聴してください。

〔解答形式〕：

記述方式で実施します。

[答案について] :

講師による添削を行います。教室講座、ビデオブース講座の方は校舎の窓口へ、オンラインライブ通信講座、Web 通信講座の方は郵送でご提出ください。

TAC 到着後、添削済答案を TAC WEB SCHOOL [学習記録] → [成績表] に掲載します（答案の返却はいたしません）。

#### 4. 1次完成答練 各科目2回実施

今まで学習した内容について理解度を確認し、実戦力につける演習教材が「完成答練」です。

基本事項の総仕上げと法改正の確認を主な目的としています。完成答練にて間違ってしまった問題や解けなかった問題は確実に見直しをしてください。その際は正解できなかつた理由ができる限り明確にしておくようにしましょう。

[実施時間] :

解答制限時間は 60 分です。教室講座、オンラインライブ通信講座の場合は、通常の 2 時間半（150 分）の講義時間内に問題を解きます。休憩をはさみ、完成答練の解説講義を行います。ビデオブース講座、Web 通信講座の場合は、問題を解いてから、解説講義を受講してください。

[解答形式] :

マークシート方式で実施します。

[答案について] :

コンピューターによる採点を行います。教室講座の方は講師へ、ビデオブース講座の方は校舎の窓口へ、オンラインライブ通信講座、Web 通信講座の方は郵送でご提出ください。TAC 到着後、個人別成績表を TAC WEB SCHOOL [学習記録] → [成績表] に掲載します（マークシートは返却いたしません）。

#### 5. 2次直前演習 全12回（各事例3回）実施

2 次本試験を想定したレベルの問題演習を実施します。問題演習を通して、2 次対策の総仕上げを行っていきます。

[実施時間] :

解答制限時間は 80 分です。教室講座、オンラインライブ通信講座の場合は、通常の 2 時間半（150 分）の講義時間内に問題を解きます。休憩をはさみ、直前演習の解説講義を行います。ビデオブース講座、Web 通信講座の場合は、問題を解いてから、解説講義を受講してください。

[解答形式] :

記述方式で実施します。

[答案について] :

講師による添削を行います。教室講座の方は講師へ、ビデオブース講座の方は校舎の窓口へ、オンラインライブ通信講座、Web 通信講座の方は郵送でご提出ください。

TAC 到着後、添削済答案を TAC WEB SCHOOL [学習記録] → [成績表] に掲載します（答案の返却はいたしません）。

## 6. 2次事例IV特訓 全6回

押さえておかなければならない典型的な問題を繰り返し解くことで、基本的な計算処理手順の定着と計算力の維持を図ります。

〔実施時間〕：

各回、講義（30分）→演習（60分）→解答解説の順で実施します。

〔解答形式〕：

記述方式で実施します。

〔答案について〕：

演習は自己採点のため、成績集計はございません。

※各答練・演習の答案提出目標日、および答案提出後に個人別成績表（1次答練）・添削済答案（2次演習）をTAC WEB SCHOOL【学習記録】→【成績表】に掲載するスケジュールにつきましては、TAC WEB SCHOOLの「講座からのお知らせ」でご案内します。

## 4 公開模試について

2026年合格目標の各公開模試は、本試験と同形式で、全国一斉に実施します。

2次実力チェック模試…2026年5月2日(土) or 3日(日)予定

1次公開模試…2026年6月27日(土)・28日(日)予定

2次公開模試…2026年9月5日(土) or 6日(日)予定

各模試とも、会場受験・自宅受験のいずれかを選択することができます。また、会場の選択も可能です（2次公開模試がご受講コースに含まれず、新規申し込みする場合は自宅受験のみ）。

お申込みのコースによって、公開模試の受験手続が異なります。

お申込みコースに2次実力チェック模試・1次公開模試・2次公開模試が含まれている場合には、無料で受験が可能ですが、受験番号発行、受験地登録のための受験手続が必要になります。この受験手続を行わないと模試を受験することができませんので、必ず期間内に手続を行ってください。

公開模試が含まれていないコースの場合には、別途、新規申込による受験手続が必要となり、この場合は受験料が発生します。

各コースに公開模試が含まれているかどうかは、下記をご参照ください。

※受験手続方法・手続期間・受験会場等の詳細につきましては、2次実力チェック模試は2026年3月上旬、1次公開模試は5月中旬、2次公開模試は7月中旬に別途ご案内予定です。

コース別2026年合格目標公開模試一覧

	2次実力チェック模試	1次公開模試	2次公開模試
1・2次ストレート本科生 PLUS	—	○	○
1・2次ストレート本科生	—	○	○
1・2次速修本科生	—	○	○
1.5年本科生（25・26年目標）	○	○	○
1.5年本科生（26・27年目標）	—	○	—
1次本科生	—	○	—
1次速修本科生	—	○	—
1次パック生〔基本編〕	—	—	—
1次パック生〔直前編〕	—	○	—
1次単科生〔基本+直前編〕	—	—	—
1次単科生〔基本編〕	—	—	—
1次単科生〔直前編〕	—	—	—
2次ファイナル本科生	—	—	○
2次ファイナル本科生 (2次事例IV特訓なし)	—	—	○

※○印のあるコースは、受験手続（無料）により受験が可能。

# 5 質問・相談について

学習上の疑問点や学習の進め方などの相談事項は、わからないままにせず、解決しておきましょう。学習メディア・受講コースによって質問体制は以下のようにご用意しております。

## 1. 講義時に講師に直接質問（教室講座・オンラインライブ通信講座のみ）

教室講座では、講義前後に質問・相談を受け付けますので、講師に直接お声掛けください。

オンラインライブ通信講座では、講義中に質問ボタンで寄せられた質問を講師が取り上げて共有するほか、講義終了後にも質問対応の時間を設けます。

## 2. 質問メール

『学習サポート』内に付属している質問メールにてご質問していただくことができます。同じく『学習サポート』内の「よくある質問」も参考にしてください。

※質問1回につき、質問事項は1項目にてお願いします。

※質問をいただいてから約1週間で回答します（年末・年始、GW等一部の期間を除く）。

※質問メールの利用方法は通信メディア編「**③学習サポート機能**」(p.37)をご参照ください。

※質問メールの最終締切日は、「**⑦各種サービス提供期限一覧**」(p.15)をご覧ください。

※受講コースによって質問可能回数が異なります。「**⑨2. 質問メールの利用回数について**」(p. 20)をご覧ください。

本試験までに質問回答できるのは、1次は2026/7/24、2次は2026/10/16 TAC 必着分とさせていただきます。なお、10/17 以降に届いたメールの回答文は、マイページにて確認できない場合がありますので、ご了承ください。

## 3. 質問内容について

ご回答できるのは、ご受講いただいている該当年度のコースに含まれている教材についての質問です。

受講講座以外の教材（市販書籍、過去の教材、他の資格専門学校で使用される教材、他社で発行されている問題集やテキスト）についての質問や、当該試験の学習範囲を逸脱している質問、他資格に関する質問にはお答えできません。

パック生・単科生につきましては、受講パック・単科に含まれている科目のみ質問を受付いたします。

受付できない質問内容の場合は、回答をしないで返却させていただきます。予めご了承ください。

★質問内容は具体的かつ簡潔に記入してください。ご利用の際は、以下の内容にご注意ください。

(1) 皆様から寄せられる質問メールには、辞書やテキスト等で調べれば分かるものもあります。「わからない」と思ったら、まずできるだけ自分で調べてみましょう。時間はかかるかもしれません、そうやって身につけた知識は決して忘れないものです。

(2) 質問メールは上手に使って実力アップを図るために、どのテキストの何ページに書いている事柄の、何がわからないのかをできるだけ詳しく書いてください。質問が具体的であればあるほど、講師も確実に回答することができます。

## 6 各種フォロー・サービス対応表

各種フォロー・サービスの利用は、お申し込みのコース、学習メディアに応じて下表の通りとなります。

コース、 学習メディア フォロー・サービス	本 科 生				パック生・単科生・オプション講座		
	教室 講座	ビデオ ブース 講座	Web 通信	オンライン ライブ 通信	教室 講座	ビデオ ブース 講座	Web 通信
クラス振替出席フォロー	●	—	—	—	●	—	—
ビデオブース振替フォロー	◎  (500円/回)	—	—	—	◎  (500円/回)	—	—
校舎間自由視聴制度	—	●	—	—	—	●	—
クラス重複出席フォロー	●	—	—	—	—	—	—
ビデオブース重複フォロー	◎  (500円/回)	◎  (500円/回)	—	—	—	—	—
Web フォロー	●	●	●	◎※1	●	●	●
Web トレーニング	●※2	●※2	●※2	●※2	—	—	—
追っかけフォロー	●	—	—	—	●	—	—
教室出席フォロー	—	●	—	—	—	●	—
スクーリング	—	—	●	●	—	—	—
アーカイブフォロー	—	—	—	●	—	—	—
学習サポート	●	●	●	●	●	●	●
質問メール	●	●	●	●	●	●	●
自習室	●	●	●	●	●※3	●※3	●※3

「●」：標準装備 「◎」：有料サービス 「—」：該当なし

※1 オンラインライブ通信講座は「Web フォロー」を30,000円でお申込みいただけます。

※2 2次ファイナル本科生、2次ファイナル本科生（2次事例IV特訓なし）は対象外です。

※3 単科生・オプション講座は対象外です。

クラス振替出席フォロー	ご都合により出席できない場合、教室講座の他のクラスに出席できる制度です（手續不要）。 ※テスト類の採点・添削も受けられます。ただし、答案の返却は出席された校舎・クラスでの返却となります。
ビデオブース振替フォロー	ご都合により出席できない場合、ビデオブース視聴にて受講できる制度です〔要予約・1講義 500円（税込）〕。 ※テスト類の採点・添削は含まれません。
校舎間自由視聴制度	申込登録校舎以外でビデオブース視聴ができる制度です。なお、講座を開講している校舎に限ります。
クラス重複出席フォロー	もう一度受講したい場合、教室講座の他のクラスに出席できる制度です（手續不要）。なお、講座の指定した講義に限ります。
ビデオブース重複フォロー	もう一度受講したい場合、ビデオブース視聴にて受講できる制度です〔要予約・1講義 500円（税込）〕。なお、講座の指定した講義に限ります。
Web フォロー	教室講義を収録した動画を TAC WEB SCHOOL 内で視聴できます。 ※テスト類の採点・添削は含まれません。
Web トレーニング	1次対策問題集『トレーニング』『1次過去問題集』をスマホやタブレットで解答できます。
追っかけフォロー	開講日後に申し込みの場合、ビデオブース視聴にて教室講座の日程に追いつける制度です（要予約・手数料不要）。
教室出席フォロー	特定の講義に関して、教室講座に出席できる制度です（手續不要）。
スクーリング 注1	TAC 各校舎で開講されている教室講座に無料で出席できる制度です。
アーカイブフォロー	オンラインライブ通信で配信された動画を視聴できます。 ※オンラインライブ受講専用サイト Schoo Swing 内でご視聴ください。
質問メール 注2	学習上の疑問点を TAC WEB SCHOOL でメールいただき、講師が回答します。
学習サポート 注3	TAC WEB SCHOOL のフォロー制度の総称です。
自習室	TAC 各校舎で教室を自習室として開放しています。 ※詳細は『TAC 利用ガイド（別冊）』をご参照ください。

注1 通信メディア編 「**4** スクーリング [本科生限定]」(p.38) 参照

注2 通学メディア・通信メディア共通編 「**9** 2. 質問メールの利用回数について」(p.20) 参照

注3 通学メディア・通信メディア共通編 「**9** 3. TAC WEB SCHOOL の掲載情報について」(p.21) 参照

# 7 各種サービス提供期限一覧

## 中小企業診断士講座

各種サービス提供期限一覧 [2026年合格目標]

各種サービスの提供は特にご案内のない場合、会員証有効期限までとなっています。

会員証有効期限 2026/10/31（会員証記載）

サービス内容	期 限	詳 細
通学メディアの教材受け渡し請求期限	2026/10/31	受け渡し請求期限付近は、在庫状況により請求当日のお渡しが難しい場合がございます。予めご了承ください。
ビデオブース（フォロー）視聴期限	2026/10/31	ビデオブースのご予約は、2026/10/30までにお手続きください。
Schoo Swing利用期限	2026/10/31	アーカイブフォローを含めて、期限後はご利用できなくなります。
通信メディアの教材問い合わせ期限	2026/10/31	期限後の教材等の送付漏れ、乱丁・落丁等のお問い合わせはお受けいたしかねます。
TAC WEB SCHOOL	デジタル教材	2026/9/30 期限後はご利用できなくなります。 ※他のサービスと期限が異なりますのでご留意ください。
	講義動画利用期限	2026/10/31 期限後は講義などの視聴ができなくなります。
	Webトレーニング	2026/10/31 期限後はご利用できなくなります。
	質問メール	1次 2026/7/24 2次 2026/10/16 <u>TAC 必着</u> 本試験までに質問回答できるのは、1次は2026/7/24、2次は2026/10/16 TAC 必着分とさせていただきます。なお、10/17以降に届いたメールの回答文は、マイページにて確認できない場合がありますので、ご了承ください。
	成績表の閲覧期限	2026/10/31 成績表は、2026/10/31までマイページでご覧いただけます。
	答案提出期限	1次 2026/7/17 2次 2026/10/5 <u>TAC 郵送必着</u> 本試験までにマイページに掲載（1次：個人成績表、2次：添削済答案）できるのは、1次は2026/7/17、2次は2026/10/5 TAC 必着分とさせていただきます。なお、10/10以降にTACに届いた答案の添削結果及び成績表は、マイページにて閲覧できない場合がございますので、ご了承ください。

注1：公開模試（自宅受験）の答案提出期限などは専用案内パンフレットなどでご確認ください。

注2：通信メディア受講で教育訓練給付制度をご利用の場合、答案は修了日まで受け付けいたします。

各自の修了日までに全提出課題の8割以上をご提出ください。

詳細は、「**8 教育訓練給付制度について**」(p.16) を参照してください。

## 8 教育訓練給付制度について

以下、教育訓練給付制度に関する説明は、全て「一般教育訓練」についての内容です。現在 TAC で開講している講座は、「専門実践教育訓練」「特定一般教育訓練」ではありませんのでご注意ください。

### 一般教育訓練給付制度

受講開始日において支給要件のある方が、厚生労働大臣の指定する講座を受講し修了した場合、支払った入会金・受講料の 20%（上限 10 万円）がハローワークから支給されます。

[2025 年 4 月 1 日現在]

制度ご利用にあたっては「TAC 教育訓練給付制度パンフレット」を必ずご確認ください。

#### 1. 一般教育訓練対象コース

- 1 次本科生【通学】教室・ビデオブース：10 月開講
- 1 次本科生【通信】Web：10 月受講開始（受講期間：10 カ月）
- 1・2 次ストレート本科生【通学】教室・ビデオブース：10～12 月開講
- 1・2 次ストレート本科生【通信】Web：10 月受講開始（受講期間：12 カ月）
- 1・2 次速修本科生【通学】教室・ビデオブース：12～1 月開講
- 1・2 次速修本科生【通信】Web 通信：12 月受講開始（受講期間：9 カ月）

制度の内容、対象コースについては、最新の「TAC 教育訓練給付制度パンフレット」でも必ずご確認ください。

#### 2. 講座申込時

講座のお申込みから 1 カ月以内に、「TAC/W セミナー教育訓練給付制度 申請申込書」に必要事項をご記入の上、TAC へご提出ください。講座のお申込みだけですと、教育訓練給付制度申込の登録は完了しておりません。必ずご提出ください。併せてご本人確認のため、本人および住居所の確認ができるものをご提示ください（郵送の場合には、本人および住居所の確認ができるもののコピーを添付してください）。

#### ★支給要件の照会

ご自身に教育訓練給付金の支給要件があるかどうかをハローワークで照会することができます。照会に必要な「教育訓練給付金支給要件照会票」は TAC 各校舎にもございます。

ご自身の支給要件について不安がある方は、予め確認してから教育訓練給付制度申込をしていただくことをお勧めします。TAC では支給要件を満たしているかどうかの判断はできません。ご了承ください。

### 3. 受講にあたって

#### ◆通学の場合

##### 修了認定するための基準（修了要件）

TAC/W セミナーでは、修了日までに出席率 80%以上並びに修了試験において正答率 60%以上を通学生の修了要件として規定しております。

##### 出席確認

講義・答練に出席の際は、毎回TAC会員証を忘れずに持参し、専用スキャナーによる読み取りを受けてください。

ビデオブースは予約履歴で出席回数を確認いたします。予約をキャンセルした講義は出席率に加算しません。

出席状況は「TAC WEB SCHOOL」⇒「マイページ」⇒「学習記録」⇒「出席状況」にてご確認いただけます。

修了日までに出席率 80%以上となるよう、ご自身で出席状況の確認を行ってください。受講した講義欄に「済」が表示されていない場合は、速やかに受講したTAC受付窓口にお申し出ください。

出席状況の確認方法等につきましては、別冊の「TAC 利用ガイド」⇒「通学メディア・通信メディア共通編」⇒「**4 TAC WEB SCHOOL について**」に掲載しております。

##### 登録のクラスを欠席したら

通学形態のフォロー制度（教室振替制度・ビデオブースフォロー）を利用して受講した場合は出席率に加算されます。

Web フォローなどの通信形態での受講は出席として扱われません。ご注意ください。

##### 受講修了日について

通学生の受講修了日は、対象コース講座全体の講義最終日以降に TAC が修了要件を確認する日です。講義最終日より約 1 週間後となります。修了日は修了試験実施の際にご案内いたします。

※会員証に記載のある「有効期限」とは異なりますのでご注意ください。

#### ◆通信の場合

##### 修了認定するための基準（修了要件）

TAC/W セミナーでは、修了日までに添削答案提出率 80%以上並びに修了試験において正答率 60%以上を通信生の修了要件として規定しております。

##### 提出率対象となる添削答案の名称および回数

###### 1次

「企業経営理論」「財務・会計」「運営管理」「経済学・経済政策」「経営情報システム」「経営法務」「中小企業経営・政策」

上記 7 科目の養成答練各 1 回、完成答練各 2 回：計 21 回

###### 2次

直前演習 12 回：計 12 回

- 1・2次ストレート本科生、1・2次速修本科生：合計33回（27回以上のご提出で80%以上の提出率となります）
- 1次本科生：合計21回（17回以上のご提出で80%以上の提出率となります）  
※各自の修了日までに添削答案の提出をお願いいたします。

#### 【答案の提出】

答案をご提出の際は、マークシート・答案用紙の指定欄に、会員番号・氏名等の必要事項を必ずご記入の上、専用の封筒でご郵送ください。

スクーリングに出席された場合、提出率の対象となる添削答案については教室で提出せず、通常通り郵送にてご提出ください。なお、白紙答案や著しく解答の記入が少ない答案は提出と認められませんのでご注意ください。

#### 【受講期間と受講修了日について】

受講されるコースの教材初回発送日から受講期間（p.15に記載）を経過した期日が修了日となります。

各自の修了日は給付制度申請申込登録完了後、教材とは別にTACよりご案内をお送りします。答案は修了日まで受け付けいたします。

※会員証に記載のある「有効期限」とは異なりますのでご注意ください。修了日以前に修了要件を満たされても、修了証明書等の発送は各自の修了日以降となります。

※Webの配信は、本試験日や会員証の有効期限等、各講座が定める期日までとなります。  
修了日までご利用いただけない場合がございます。予めご了承ください。

### 4. 教育訓練給付制度修了試験について

修了試験は受講後半に [TAC WEB SCHOOL] ⇒ [学習サポート] ⇒ [Web 答練] で実施いたします。

下記期間にアクセスしていただき、解答送信期限内に解答送信してください。

1次本科生 2026年6月1日～6月30日

1・2次ストレート本科生、1・2次速修本科生 2026年8月1日～8月31日

### 5. 講座修了時

所定の期間内に要件を満たして修了された方には、修了日の翌日にTACより「教育訓練給付金支給申請書」「教育訓練修了証明書」「領収書」もしくは「クレジット契約証明書」の3点を郵送いたします。修了日から1週間以内に書類が届かない場合は至急TACまでご連絡ください。

教育訓練給付制度の関係書類は全て郵送いたします。

住所や書類送付先の変更は、所定の変更届出書にて速やかにお手続きください。

## 6. 支給申請手続

教育訓練の要件を満たして修了された方が給付金の支給を受けるには、ハローワークでの支給申請手続が必要です。支給申請手続は原則、修了日の翌日から起算して1ヶ月以内です。

※支給申請期限内に手続きできなかった場合は、ハローワークの雇用保険窓口にお問い合わせください。2年間の時効の期間内であれば支給申請手続きが可能です。

## 7. 教育訓練給付制度に関する詳細

■TACのホームページにある一般教育訓練給付制度のご案内

<https://www.tac-school.co.jp/kyufu/>



■ハローワークインターネットサービス「教育訓練給付」について

[https://www.hellowork.mhlw.go.jp/insurance/insurance\\_education.html](https://www.hellowork.mhlw.go.jp/insurance/insurance_education.html)



■TAC 教育訓練給付制度パンフレット

- ・TAC 各校舎にございます。
- ・TAC カスタマーセンターでもご請求いただけます。

<p style="text-align: center;"><b>「TAC 教育訓練給付制度」パンフレット請求</b></p> <p style="text-align: center;">TAC カスタマーセンター</p> <p style="text-align: center;"><b>0120-509-117</b></p> <p style="text-align: center;">10:00～19:00</p>
---

## 9

# 診断士講座オリジナルサービス

### 1. 日程表について

各コースの「教室講義日程」「利用開始日」「教材送付日程」については、以下のホームページに掲載いたしますのでご確認ください。

■TACホームページ「講義日程のご案内」

[https://www.tac-school.co.jp/kouza\\_chusho/chusho\\_nittei\\_odd.html](https://www.tac-school.co.jp/kouza_chusho/chusho_nittei_odd.html)



### 2. 質問メールの利用回数について

質問メールの利用回数には、下記の通り回数制限がございます。受講期間中に下記の制限回数を越えて利用された場合には、質問に回答できない場合がございますので、予めご了承ください。

#### □受講期間中に可能な質問メール利用回数

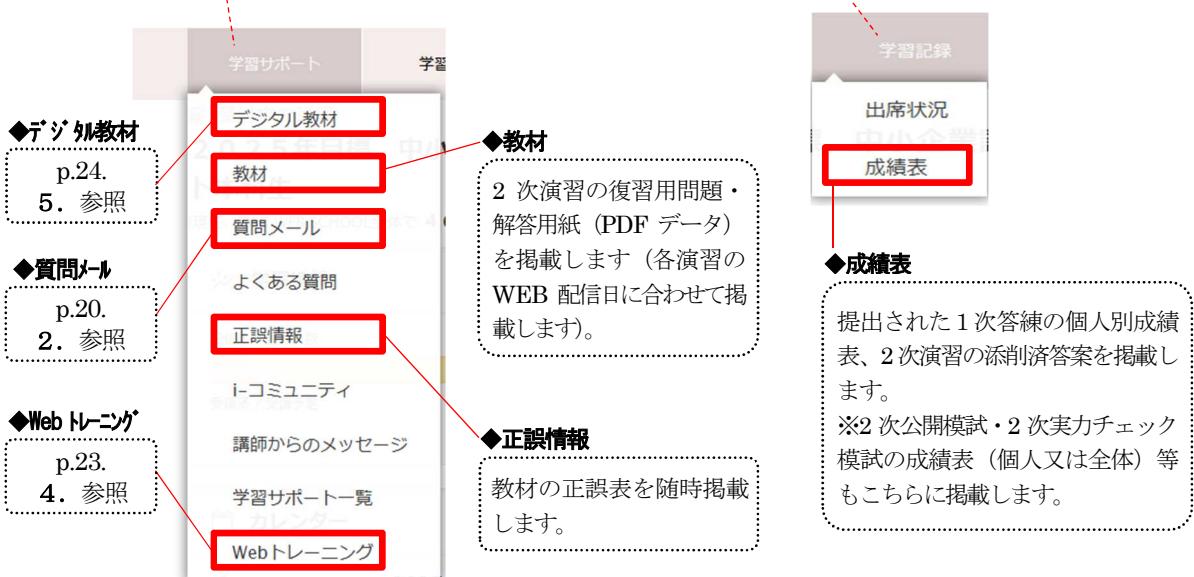
1次 「財務・会計」先行アプローチ講義	…3回
1・2次ストレート本科生 PLUS	…50回
1・2次ストレート本科生	…40回
1・2次速修本科生	…25回
1.5年本科生（25・26年目標総計）	…50回
1.5年本科生（26・27年目標総計）	…50回
1次本科生	…25回
1次速修本科生	…20回
1次パック生〔基本編〕	…20回
1次パック生〔直前編〕	…10回
1次単科生〔基本+直前編〕	…5回／各科目
1次単科生〔基本編〕	…3回／各科目
1次単科生〔直前編〕	…3回／各科目
2次ファイナル本科生	…10回
2次ファイナル本科生（2次事例IV特訓なし）	…10回

### 3. TAC WEB SCHOOL の掲載情報について

TAC WEB SCHOOL に、学習にお役立ていただくためのさまざまな情報を随時掲載していますので、ご受講中は適宜ご確認ください。

#### 【サイト上部】

The screenshot shows the top navigation bar of the TAC WEB SCHOOL website. The tabs include '学習サポート' (highlighted in red), '学習記録' (highlighted in red), 'ビデオブース予約・教室検索', '初めての方', '教材発送状況', and 'ヘルプ'. Below the navigation, there's a banner for '2026年目標 中小企業診断士講座 1・2次ストレート本科生プラス' with a note '(現在、TAC WEB SCHOOL全体で 4415人が学習中)'. On the left, there's a '学習進捗' section with a progress bar for '講義回数' (4/8) and '受講済 / 受講予定' (0/0). In the center, there's a 'カレンダー' for May 2025 showing the dates from 28 to 31. To the right, there's a '学習時間集計' section for the period from May 12 to 18, 2025, showing a total of 16 hours. A red dashed line connects the highlighted '学習サポート' and '学習記録' tabs at the top to their corresponding sections in the sidebar.



## 【サイト下部】

学習サポート 学習記録 ビデオブース予約・教室検索 初めての方 教材発送状況 模擬受験登録 ヘルプ

❶ 講座からのお知らせ

2025/05/16 経営法務 1次義成答練 全体成績表(5.16版) [NEW!]

2025/05/16 企業経営理論 1次完成答練① 全体成績表(5.16版) [NEW!]

2025/05/16 財務・会計 1次完成答練① 全体成績表(5.16版) [NEW!]

❷ ご利用にあたっての大切なご案内

- 令和7年度 第1次試験出願について
- 受講にあたり重要なお知らせリスト

❸ ご利用ガイド・日程表・その他

- TAC利用ガイド・受講ガイド
- 講座日程表一覧
- 仕事と資格WEBマガジン TACNEWS
- オンライン自習室 Herazika

❹ 講座からのお知らせ

下記の情報を随時掲載します。

- 1次答練・2次演習の得点データ  
(平均点、得点分布表、設問別正答率など)
- 2次演習の講評
- 2次演習の参考答案
- 公開模試の受験手続き案内
- その他、事務局からの各種ご案内

❺ ご利用にあたっての大切なご案内

受講生への皆様へのご連絡事項等を掲載します。  
「講座からのお知らせ」に掲載している情報から、受講にあたり必ず確認いただきたい重要なお知らせをリストにして、こちらにも掲載しています。

#### 4. Web トレーニングについて

Web トレーニングとは、パソコンやスマートフォン等から Web 上で問題を解いていただくことができるサービスです。

一問一答形式で出題され、問題を解くと正解か不正解かすぐにわかりますので、スキマ時間を有効に活用いただけます。

##### ■ 対象コース／受講科目数に関わらず全科目利用できます。

1・2次ストレート本科生 PLUS	1・2次ストレート本科生
1・2次速修本科生	1次本科生 1次速修本科生
1.5年本科生（25・26年合格目標）	1.5年本科生（26・27年合格目標）

※パック生・単科生はご利用いただけません。

※機種・端末状況によってはご利用できない場合がございます。

##### ■ 問題内容

[2026年度合格目標]

トレーニング【問題集】・1次過去問題集

##### ■ 利用期間

2026年10月31日（土）まで

##### 配信時期（予定）

- |                      |
|----------------------|
| ①企業経営理論：2025年10月上旬   |
| ②財務・会計：2025年11月上旬    |
| ③運営管理：2025年12月上旬     |
| ④経済学・経済政策：2026年1月上旬  |
| ⑤経営情報システム：2026年2月上旬  |
| ⑥経営法務：2026年3月上旬      |
| ⑦中小企業経営・政策：2026年4月上旬 |
| ⑧1次過去問題集：2026年4月上旬   |

※ Web トレーニングの操作マニュアルは、学習サポート→ Web トレーニング→「Web トレーニングのお知らせ」に掲載していますので、ご確認ください。

## 5. デジタル教材について

下記の対象教材について、スマートフォン、タブレットなどでデジタル教材データを閲覧いただけます。

※利用できるデジタル教材は、受講科目に限ります。

### ■ 対象教材

「基本テキスト」「1次最終講義レジュメ」「2次直前テキスト」

「2次再現答案分析レジュメ（R3～6）」「2次再現答案分析レジュメ（R7）」（「2次再現答案分析レジュメ（R3～6）」はデジタル教材のみで冊子はございません。）

### ■ 対象コース

1・2次ストレート本科生 PLUS 1・2次ストレート本科生

1・2次速修本科生 1次本科生 1次速修本科生

1.5年本科生（25・26年合格目標） 1.5年本科生（26・27年合格目標）

1次パック生【基本編】 1次単科生【基本+直前編】 1次単科生【基本編】

1次単科生【直前編】 2次ファイナル本科生 2次ファイナル本科生（IV特訓なし）

### ■ 利用期間

2026年9月30日（水）まで

デジタル教材の詳細についてはこちらをご確認ください。



※デジタル教材の動作環境および注意事項は、TAC WEB SCHOOL

（<https://ws.tac-school.co.jp/taiken>）にてご確認ください。

※機種・端末によっては、使えない場合もございます。

\*Mac, iPhone, iPad, Safari は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

\*iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

\*iOS 商標は、Cisco の米国およびその他の国のライセンスに基づき使用されています。

\*Android は、米国およびその他の国々で登録された Google Inc.の商標または登録商標です。

**中小企業診斷士講座**

REGISTERED MANAGEMENT CONSULTANT

**REGISTERED MANAGEMENT CONSULTANT**

**教室講座編**

**TAC**

# 1 欠席した場合のフォロー

講義に欠席した場合は以下の欠席者フォロー制度をフルに活用してください。

欠席した場合のフォロー方法	サービスの名称	サービスの内容
1. 欠席した講義を他のクラスに出席して受講する	クラス振替出席フォロー ※テスト類の採点・添削も受けられます。	会員証とテキスト等をお持ちいただければ、ご希望の校舎・クラスで講義が受けられます。(お手続きは不要。締め切りクラスを除く)
2. 欠席した講義をビデオブースで受講する	ビデオブース振替フォロー(有料) ※テスト類の採点・添削も受けられます。(答案は校舎窓口に提出)。	各校舎のビデオルーム内で講義を視聴できます。[要予約、有料¥500(税込)]詳細は各校舎にお問い合わせください。
3. ご自身のパソコンやスマートフォン・タブレット端末でWeb通信を受講する	Web フォロー(標準装備) ※テスト類の採点・添削も受けられます。(答案は校舎窓口に提出)。	Web通信メディアの講義をご自身の端末で視聴できます。詳細は『TAC 利用ガイド(別冊)』通信メディア編「 <b>2 WEB</b> での受講方法」をご覧ください。

## 1. 他のクラスに出席する…「クラス振替出席フォロー」

登録したクラスの講義を欠席した場合、同一コース、同一内容の講義に限り、別クラスの講義に出席できます。

※テスト類(答練、演習等)の採点・添削も受けられます。

添削済答案はTAC WEB SCHOOLマイページにアップとなります。

※クラス振替出席フォローは、受講地区を問わず可能ですが、登録人数の多いクラスによっては、振替出席をご遠慮いただく場合がございます。予めご了承ください。

## 2. 欠席した講義をビデオブースで受講する…「ビデオブース振替フォロー」

欠席された講義を各校ビデオルーム内の個別ブースにて、ビデオで視聴することができます。予約した校舎のビデオルームでご視聴ください。なお、受講・予約の方法は、『TAC 利用ガイド(別冊)』ビデオブース講座編「**4 ビデオブース利用方法**」をご参照ください。

◇有料〔1回につき 500 円(税込)〕、完全予約制(当日予約は不可)となります。

◇視聴開始日は、各日程表をご覧ください。

※校舎の窓口に答案を提出くればテスト類(ミニテスト除く)の採点・添削も受けられますが、通常の答案掲載よりもお時間を要する場合があります。予めご了承ください。

※個人別成績表(1次答練)・添削済答案はTAC WEB SCHOOLマイページにアップします。

### 3. Web フォロー

欠席された講義をインターネットを利用することによって、フォローすることができます。詳細は、『TAC 利用ガイド（別冊）』通信メディア編「**2 WEB での受講方法**」をご覧ください。

◇対象コース：教室講座・ビデオブース講座の全コース（標準装備）

◇料金：無料。

◇Web フォローをご利用になる場合は、お申込みの前に必ず下記 TAC ホームページ内「TAC WEB SCHOOL」にて動作環境および、無料デモ体験版の動作をご確認ください。  
<https://portal.tac-school.co.jp/>

◇Web フォローの場合、教育訓練給付制度ご利用の方は、出席扱いになりませんのでご注意ください。

※校舎の窓口に答案を提出くださればテスト類（ミニテスト除く）の採点・添削も受けられます。通常の答案掲載よりもお時間を要する場合があります。予めご了承ください。

※個人別成績表（1次答練）・添削済答案は TAC WEB SCHOOL マイページにアップします。

## 2 もう一度講義を受講したい場合

### ◆クラス重複出席フォロー・ビデオブース重複フォロー

一回の受講では十分に理解できなかった講義を、もう一度受講したい場合には、同一講義を再受講することができます。

お申込みの講座や登録コースによって利用できない場合がございます。予めご了承ください。また利用方法等が各校舎によって異なる場合がございますので、詳細は各校受付に必ずお問い合わせください。

1. 対象コース：本科生コースのみ

2. 対象講義：基本講義・速修講義・2次基本講義・2次直前講義のみ

※答練・演習は不可

3. 回数：1回ずつ利用可能

4. 利用方法：2つの方法でご利用できます。

（1）他のクラスに出席して重複受講する（クラス重複出席フォロー）。

（2）ビデオブース重複フォロー（有料・要予約）で重複受講する。

ビデオブース受講のルールや予約方法などは、『TAC 利用ガイド（別冊）』ビデオブース講座編「**4 ビデオブース利用方法**」をご参照ください。

### 3 答案の採点および成績発表について

#### ◆1次答練

提出された答案はコンピュータにより採点し、TAC WEB SCHOOL [学習記録] → [成績表] に個人成績表を掲載します（マークシートは返却いたしません）。

TAC中小企業診断士講座 個人別成績表									
経済学・経済政策1		得点率(%)							
問題	設問	解答	正答	判定	正答率	A	B	C	D
第1問		ウ	ウ	○	33	18	23	34	15
第2問		オ	オ	○	45	13	9	16	14
第3問		ウ	ア	×	40	43	17	21	12
第4問		ア	ア	○	70	73	4	13	4
第5問		ウ	ウ	○	49	9	5	52	25
第6問		エ	エ	○	1	5	2	3	6
第7問		ア	ア	○	23	23	24	39	10
第8問		ウ	#	○	100	15	9	49	16
第9問		イ	イ	○	17	37	17	16	7
第10問		イ	イ	○	38	42	38	4	15
第11問	問題1	オ	オ	○	57	3	9	5	21
第12問	問題2	イ	イ	○	57	21	59	6	6
第13問		ウ	ウ	○	35	21	21	38	11
第14問		イ	イ	○	27	13	27	22	32
第15問		エ	エ	○	57	4	6	5	59
第16問		オ	オ	○	17	4	6	23	15
第17問	問題1	ア	ア	○	53	56	7	22	3
第18問	問題2	ア	ア	○	45	48	9	10	17
第19問		イ	エ	×	15	16	32	29	15
第20問		ウ	ウ	○	33	12	21	35	31
第21問		エ	エ	○	68	5	17	72	0
第22問		イ	ア	×	38	41	10	34	6
第23問		ウ	イ	×	20	11	20	22	45
第24問		ウ	ウ	○	56	27	4	59	4
第25問		オ	オ	○	23	12	10	32	20
得点分布表									
※「選択題」は各選択肢の回答数を示す。 ※各選択肢が「1」の問題は設問番号による、 全員正解問題です。 ※各選択肢が「1」の問題で誤ったものは今一度 見直しておきましょう。 ※各種統計データは成績表作成時に更新される ため、時期により若干異なります。									

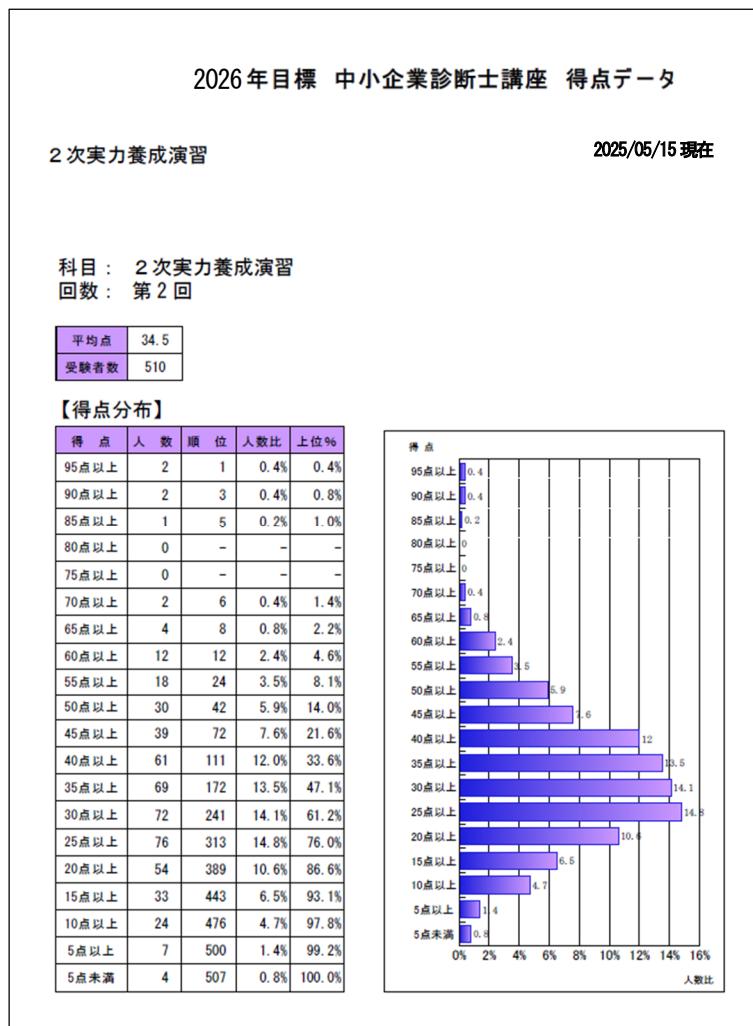
個人成績表には成績表発行日時点での全体得点データ（平均点、得点分布表、設問別正答率など）を掲載します。復習の際にご活用ください。

※各答練の全体得点データは、TAC WEB SCHOOL [講座からのお知らせ] に掲載します。

## ◆2次演習

教室で提出された2次演習答案は、TAC WEB SCHOOL [学習記録] → [成績表] に掲載いたします（添削済み答案（紙）は返却いたしません）。

※各演習の全体得点データ（全体成績表）・講評・参考答案などは、TAC WEB SCHOOL の [講座からのお知らせ] に掲載します。



## ◆振替受講での答案返却について

振替受講を利用して教室で2次演習を受けた場合も、TAC WEB SCHOOL マイページにて掲載いたします。

## 4 教材配布予定・Web 講義配信予定

### (1) 通学受講生の《受付窓口》教材配布予定 (2025年6月1日現在)

通信受講生の教材発送日程は、日程表にて確認してください。

※受講コースにより、配布教材が異なります。

※配布予定は変更になる場合がございます。

	教 材	配布予定
◆	1次「財務・会計」先行アプローチテキスト 【1・2次ストレート本科生 PLUSは Web 受講（教室・ビデオブースでも受講可）／教材送付】	6月中旬
◆ 基本テキスト	企業経営理論	8月中旬
	財務・会計	10月上旬
	運営管理	11月下旬
	経済学・経済政策	12月上旬
	経営情報システム	2026年1月中旬
	経営法務	2026年2月上旬
	中小企業経営・政策	2026年2月中旬
◆ トレーニング	企業経営理論	8月中旬
	財務・会計	10月上旬
	運営管理	11月下旬
	経済学・経済政策	12月上旬
	経営情報システム	2026年1月中旬
	経営法務	2026年2月上旬
	中小企業経営・政策	2026年2月中旬
★	1次過去問題集（7科目）	12月中旬
★	2次過去問題集	2026年3月上旬
★	2次基本テキスト	11月中旬
★	2次基本演習①～④ 【Web 受講／教材は窓口配布】	12月中旬
★	2次過去問演習①～④ 【Web 受講／教材は窓口配布】	2026年2月中旬より順次
☆	2次過去問演習⑤～⑧ 【Web 受講／教材は窓口配布】	2026年3月上旬より順次

教 材		配布予定
1 次 最 終 講 義 レ ジ ュ メ	企業経営理論	2026年7月上旬
	財務・会計	2026年7月上旬
	運営管理	2026年7月上旬
	経済学・経済政策	2026年7月上旬
	経営情報システム	2026年7月上旬
	経営法務	2026年7月上旬
	中小企業経営・政策	2026年7月上旬
2次直前テキスト		2026年7月中旬
2次再現答案分析レジュメ (R7)		2026年7月中旬

◆1・2次ストレート本科生PLUSは、通学受講生にも、1次「財務・会計」先行アプローチテキストをご登録の住所にお送りします。6/20（金）～配信のWEB講義を視聴いただけますが、教室・ビデオブースでの受講も可能です。（開講校舎・日程は「日程表」にてご確認ください。）

★1・2次ストレート本科生PLUS、1・2次ストレート本科生、1・2次速修本科生、1.5年本科生（25・26年目標）のみ

☆1.5年本科生（25・26年目標）のみ

※上記に記載のない答練・演習については、各講義日に教室にて配布します。

## (2) Web受講講義の配信予定

1・2次ストレート本科生PLUS、1・2次ストレート本科生、1・2次速修本科生、1.5年本科生（25・26年目標）は下記の講義をTAC WEB SCHOOLでの動画視聴にてご受講いただけます。通学受講生は、当該講義の教材を各校受付にて配布いたしますので、会員証をご持参の上、お受け取りください。

演習には添削指導がございますので、添削をご希望の方は受付窓口に答案を提出してください。

講義名	対象コース				配信開始日
	1・2次 スト PLUS	1・2次 スト	1・2次 速修	1.5年 (25・26年 目標)	
2次基本演習①②③④	●	●	●	●	12/20（土）
2次過去問演習①②③④	●	●	●	●	2026/ 2/18（水）
2次過去問演習⑤⑥⑦⑧				●	2026/ 3/16（月）

2次ファイナル本科生は下記の講義をTAC WEB SCHOOLでの動画視聴にてご受講いただき、学習メディアを問わず、ご登録先の住所に教材をお送りします。

講義名	2次ファイナル本科生	対象教材
2次事例IV特訓	●	2次事例IV特訓・2次事例IVの解き方 [第三版]

**中小企業診断士講座**

REGISTERED MANAGEMENT CONSULTANT

**REGISTERED MANAGEMENT CONSULTANT**

**ビデオベース講座編**

**TAC**

# 1 答練等の受講、答案の採点および成績発表について

## 1. 答練・演習の受講について

ご視聴いただく講義は解説講義のみとなります。

受講に際しては、以下のいずれかの方法で解答し、その後、講義をご視聴ください。

- (1) ビデオブースで解答
- (2) 自習室にて解答
- (3) 自宅に問題を持ち帰って解答

## 2. 答案の提出・返却について

### (1) 答案の提出について

答案の提出は、各校舎の受付窓口へお願いいたします。

お申込みの講座や登録コース、受講形態によっては自己採点していただくものがございます。詳しくは通学メディア・通信メディア共通編「**3 演習・答練について**」(p.7) をご確認ください。

### (2) 答案提出目標日・最終提出締切日について

各種答練・演習には全体成績表の更新に反映させるための提出目標日、および本試験までに個人別成績表・添削済み答案を WEBSCHOOL のマイページに掲載するための最終提出締切日がございます。

提出目標日・全体成績表の更新スケジュールについては、TAC WEB SCHOOL 「講座からのお知らせ」等に載します。目標日までに提出できるよう計画的に学習しましょう。

最終提出締切日は、通学メディア・通信メディア共通編「**7 各種サービス提供期限一覧**」(p.15) をご確認ください。

### (3) 答案の返却について

#### ◆1次答練

提出された答案はコンピュータにより採点し、TAC WEB SCHOOL のマイページに個人成績表を掲載します（マークシートは返却いたしません）。

#### ◆2次演習

2次演習の添削済み答案については、TAC WEB SCHOOL のマイページにて掲載いたします（添削済み答案（紙）の返却はいたしません）。

## 2 答練・演習の教室振替について

答練・演習は教室受講生と一緒に受けてみたいという方のために、1次養成答練・1次完成答練・2次直前演習に限り、ビデオブース受講から教室受講に振替できる制度です。

### ●地区 教室講座開講地区のみ

お手續は不要です。

会員証を持参の上、教室講義に出席してください。日程は、TAC ホームページに掲載の教室講座日程表で確認の上、ご希望の校舎・クラスで受講してください。

※定員に達したクラスについては、振替受講をお断りするケースがあります。詳細は各校までお問合せください。

## 3 もう一度講義を受講したい場合

### ◆ビデオブース重複フォロー

一回の受講では十分に理解できなかった講義を、もう一度受講したい場合には、同一講義を再度受講することができます。

お申込みの講座や登録コースによって利用できない場合がございます。予めご了承ください。また利用方法等が各校舎によって異なる場合がございますので、詳細は各校受付に必ずお問い合わせください。

1. **対象コース**：本科生のみ

2. **対象講義**：基本講義・速修講義・最終講義・2次基本講義・2次直前講義のみ

3. **回数**：1回ずつ利用可能

4. **利用方法**：ビデオルームでのご利用となります。

※一回あたり 500 円（税込）の利用料金がかかります。

※ビデオブースのご利用には、事前に予約が必要です。

## 4 教材・レジュメのお渡しについて

ビデオブース講座で使用する教材は、コースによって異なりますが、テキスト、トレーニング等や講義中に配布される答練、演習は、受講前に講義録と一緒に各校受付でお渡します。  
※教材の保管期限は 2026 年 10 月 31 日までです。教材の請求は期限内にお願いします。

教材の配布予定については、教室講座編「**4 教材配布予定**」(p.29) をご確認ください。

**中小企業診断士講座**

REGISTERED MANAGEMENT CONSULTANT

**REGISTERED MANAGEMENT CONSULTANT**

## **通信メディア編**

Web 通 信 講 座

オンラインライブ通信講座

**TAC**

# 1 教材発送について

## 1. 教材等の到着日

日程表記載の教材発送日は、TACから出荷する日付です。受講生の皆さんの自宅への到着は、地域によって異なりますが、目安としてTAC発送日の1日～4日後となります。

お届けの際にご不在の場合は、「不在連絡票」が入れられますので、ご確認の上、教材をお受取りください。

なお、初回発送日以降に申し込まれた方には、経過分をまとめて発送いたします。

※通信講座の受講生に向けた、出荷荷物番号が確認できるサービスもご用意しております。

TAC WEB SCHOOL をご確認ください。

## 2. 教材等の確認

毎回「送付明細表」を添付しておりますので、教材等がお手元に届きましたら、まずは内容のご確認をお願いします。

## 3. 教材発送に関するお問い合わせ

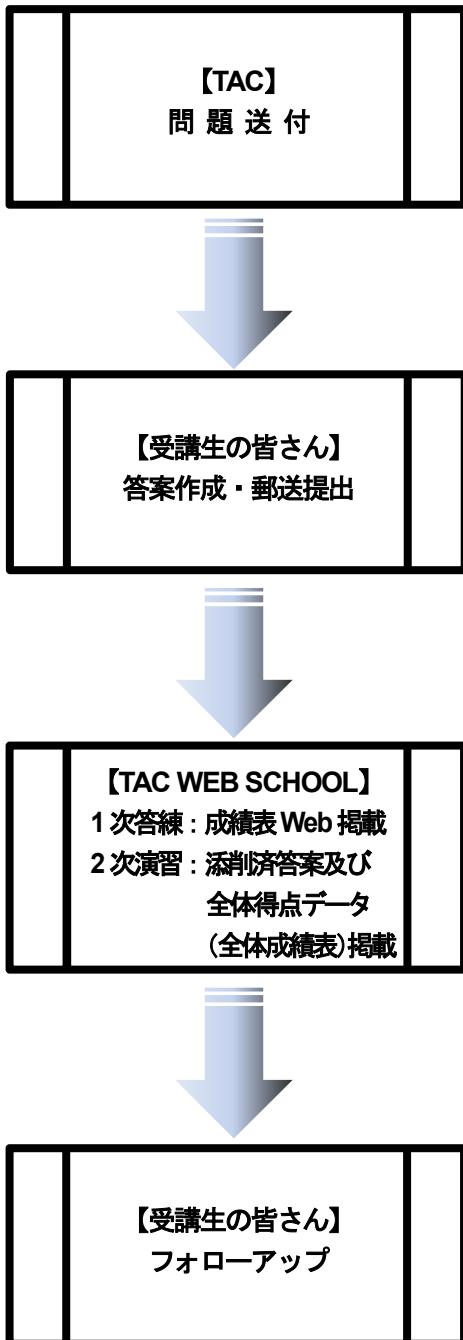
教材の発送漏れ、教材の乱丁・落丁等がありましたら、発送日より1ヶ月以内に送付明細表に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

※お問い合わせ先はTAC WEB SCHOOL をご確認ください。

なお、会員証記載の有効期限後の請求には応じられません。予めご了承ください。

## 2 答案添削の流れ

### 1. 添削システム



日程表記載の送付日程にしたがって問題・答案用紙・解答・返信(郵送提出)用封筒が送付されます

オンラインライブ通信講座の方は、講義時間内に問題を解きます(休憩をはさみ、解説講義を行います)。Web通信講座の方は、問題を解いてから解説講義を受講してください。  
計画的に学習し、必ず答案を提出しましょう。

作成した答案は郵送で提出してください。

※最終提出締切日(通学メディア・通信メディア共通編「**7 各種サービス提供期限一覧**」(p.15)参照)を過ぎますと、本試験までに採点できませんので厳守してください。

※答案については必ず原本をご提出ください(コピー不可)。

- 1次マークシート答案(答練)は個人別成績表をTAC WEB SCHOOL「学習記録」に掲載します。
- 2次記述式答案(演習)は添削指導して添削済み答案を「学習記録」に掲載します。

※掲載スケジュール詳細はTAC WEB SCHOOL「講座からのお知らせ」でご案内いたします。

※1次・2次ともに全体成績表を「講座からのお知らせ」に掲載します。

WEB SCHOOLに掲載された全体成績表、添削済み答案と解答・解説等で、フォローアップをしっかりと行ってください。

※詳細は教室講座編「**3 答案の採点および成績発表について**」(p.27)をご確認ください。

## 2. 答案提出上の注意

解答用紙オモテ面に氏名・会員番号等を書く欄がありますので、必ずご記入ください。

### 3. 答案作成上の注意

#### (1) 1次マークシート答案（答練）

- ① マークシート答案の作成は、必ず HB か B の鉛筆またはシャープペンシルで解答してください。それ以外の筆記用具（ボールペンや万年筆、水性ペンなど）で解答されているものは採点処理できません。
- ② 会員番号・氏名・誕生日・受験地区等の記入漏れや記入ミス・マークミスがあつた場合、成績表が正しく表示されないことがございます。ご記入には十分ご注意ください。

#### (2) 2次記述式答案（演習）

- ① 記述式答案の作成は、必ず HB か B の鉛筆またはシャープペンシルで解答してください。
- ② 答案用紙の指定欄に、会員番号・氏名等の必要事項を必ずご記入ください。
- ③ 答案用紙については必ず原本をご提出ください。

### 4. 答案提出目標日・最終提出締切日について

各種答練・演習には全体成績表の更新に反映させるための提出目標日、および本試験までに個人別成績表・添削済み答案をWEBSCHOOLのマイページに掲載するための最終提出締切日がございます。

提出目標日・全体成績表の更新スケジュールについては、TAC WEB SCHOOL「講座からのお知らせ」等に載します。目標日を目安に答案を提出できるよう、計画的に学習しましょう。

最終提出締切日は、通学メディア・通信メディア共通編「**7 各種サービス提供期限一覧**」(p.15)をご確認ください。

### 5. 答案郵送の方法

教材送付時に同封されている専用の返信用封筒に切手を貼って提出してください。

専用の封筒がお手元にない場合には、市販の封筒でも構いません。

下記送付先を明記してください。その際は、表に答案在中と赤書してください。

〒 101-8383 東京都千代田区神田三崎町 3-2-18  
TAC 通信教育部 行

### 6. お問い合わせ

答練・演習の到着状況に関するお問い合わせ先は卷末のお問い合わせ一覧をご確認ください。

### 3 学習サポート機能

TAC WEB SCHOOL では様々な学習サポート機能で、受講生と講師による双方向のコミュニケーション学習を可能にします。メールで疑問点を質問できる「質問メール」、学習上よくある質問をデータベース化した「よくある質問」、学習のポイントや応援メッセージが掲載される「講師からのメッセージ」など、フォローアップ体制は万全です。

※お申込みいただいている講座・コースにより、ご利用いただける機能は異なります。

[パソコン画面]

The screenshot shows the main dashboard of the TAC WEB SCHOOL website. At the top, there are navigation links for '学習サポート' (Learning Support), '学習記録' (Learning Record), 'ビデオブース予約・教室検索' (Video Booth Reservation · Classroom Search), '初めての方' (First-timers), '教材発送状況' (Material Dispatch Status), and 'ヘルプ' (Help). Below this, there's a section for '教材' (Materials) with a 'Webミニテスト' (Web Mini Test) button. A large red box highlights the '質問メール' (Question Mail), 'よくある質問' (Frequently Asked Questions), and '講師からのメッセージ' (Messages from Teachers) buttons. To the right, there's a progress bar for an exam: '本試験まであと 170 日' (170 days until the exam) and '66% 完成' (Completed 66%). A red box also highlights the '正誤情報' (Right-Wrong Information) button.

#### ◆よくある質問

疑問点や不明点があつたら、まずは「よくある質問」をご覧ください。一般的に多い質問や他の方がすでに質問した事項をデータベースに集めてありますので、疑問に思う項目を探すことができます。

#### ◆質問メール

学習上の疑問点など質問したい場合、いつでもメールで質問が出来ます。疑問点や不明な点は早めに解決することが大切です。講師またはスタッフがわかりやすく丁寧にお答えします。  
※回答もマイページ上でご確認いただけます。

[スマートフォン画面]

The screenshot shows the mobile version of the TAC WEB SCHOOL website. At the top, there are navigation links for '学習サポート' (Learning Support), '学習記録' (Learning Record), 'ビデオブース予約・教室検索' (Video Booth Reservation · Classroom Search), 'Webミニテスト' (Web Mini Test), 'Web答案提出' (Submit Answer), '質問メール' (Question Mail), 'よくある質問' (Frequently Asked Questions), '講師からのメッセージ' (Messages from Teachers), '正誤情報' (Right-Wrong Information), and '学習サポート一覧' (List of Learning Support). A red box highlights the '質問メール' button. To the right, there's a progress bar for an exam: '本試験まであと 170 日' (170 days until the exam) and '66% 完成' (Completed 66%). A red box also highlights the '正誤情報' button.

#### ◆講師からのメッセージ

講師から学習に関するポイントや本試験時的心構えなど、様々なメッセージが届けられます。講師からの熱いアドバイスやメッセージに学習のモチベーションが上がること間違いなしです。

## 1. ご利用方法

学習サポート機能はTAC WEB SCHOOL のマイページよりご利用いただけます。マイページ登録をまだ行われていない場合は、[http://portal.tac-school.co.jp]にアクセスし、→[ログインページへ]→[マイページ登録]と進み、画面の案内に従って登録を完了させてください。

## 2. 注意事項

TACでは学習サポート機能の操作方法につきましてサポートしております（お問い合わせ先はTAC WEB SCHOOLをご確認ください）が、それ以外の内容（パソコンの使い方・故障・プロバイダーへの接続不具合等）につきましてはサポートいたしかねますので、直接メーカー・プロバイダーにお問い合わせください。

## 4 スクーリング【本科生限定】

対象となる通信メディア（Web 通信講座／オンラインライブ通信講座）の受講生が、TAC 各校舎で開講されている教室講座に無料で出席できる制度です。同じ目的を持ったライバルと顔を合わせる良い機会ですので、ぜひご活用ください。

なお、ご利用の際は必ず会員証と教材をご持参の上、直接ご希望の教室にお入りください。

◆スクーリングには、利用回数に上限があります。また、お申し込みいただいている講座・コースにより利用回数の上限が異なりますのでご注意ください。

### □スクーリング利用可能回数

1・2 次ストレート本科生 PLUS	…30回
1・2 次ストレート本科生	…25回
1・2 次速修本科生	…15回
1 次本科生	…25回
1 次速修本科生	…15回
1.5 年本科生（25・26 年目標総計）（26・27 年目標総計）	…30回
2 次ファイナル本科生・2 次ファイナル本科生（2 次事例IV特訓なし）	… 5回

◆スクーリングをご利用の際は、希望する校舎の教室日程をご確認いただき、必ず会員証と教材をご持参の上、受講してください。

各コースの「教室講義日程」「利用開始日」「教材送付日程」については、TAC WEB SCHOOL 日程表よりご確認ください。

予約は不要ですが、締切クラスについては出席をお断りすることがあります。また、日程はやむを得ず変更される場合もございます。事前に TAC 各校舎へお問い合わせください。

◆答練・演習をスクーリングする場合、答案は教室で提出せず、通常通り専用の返信用封筒に切手を貼って提出してください。

※教育訓練給付制度をご利用の場合、答案を教室で提出されると提出率に加算されませんのでご注意ください。

## 5 答案返却について

### (1) 1次マークシート答案について

郵送でご提出いただいたマークシートは、TAC〔本社〕到着後、採点処理をし、TAC WEB SCHOOLに個人別成績表を掲載いたします。但し、最終締切日を過ぎて提出された答案は、本試験までに返却できない場合がございますので予めご了承ください。

※個人別成績表は、各答練の答案提出目標日以降に掲載いたします。答案提出目標日の詳細は別途TAC WEB SCHOOL「講座からのお知らせ」でご案内いたします。

※提携校でのサービスは、直営校と異なる場合がございます。

### (2) 2次記述式答案（演習）について

郵送でご提出いただいた答案は、TAC〔本社〕到着後、添削指導し、添削済み答案をTAC WEB SCHOOLに掲載いたします。但し、最終締切日を過ぎて提出された答案は、本試験までに返却できない場合がございますので予めご了承ください。

最終提出締切日は、通学メディア・通信メディア共通編「**7 各種サービス提供期限一覧**」(p.15)をご確認ください。

	答 案	給付制度 提出課題		
1 次 基 本 編	1 次養成答練 企業経営理論	○	2 次基本演習①	×
	1 次養成答練 財務・会計	○	2 次基本演習②	×
	1 次養成答練 運営管理	○	2 次基本演習③	×
	1 次養成答練 経済学・経済政策	○	2 次基本演習④	×
	1 次養成答練 経営情報システム	○	2 次過去問演習①	×
	1 次養成答練 経営法務	○	2 次過去問演習②	×
	1 次養成答練 中小企業経営・政策	○	2 次過去問演習③	×
1 次 直 前 編	1 次完成答練① 企業経営理論	○	2 次過去問演習④	×
	1 次完成答練① 財務・会計	○	2 次過去問演習⑤ (■)	×
	1 次完成答練① 運営管理	○	2 次過去問演習⑥ (■)	×
	1 次完成答練① 経済学・経済政策	○	2 次過去問演習⑦ (■)	×
	1 次完成答練① 経営情報システム	○	2 次過去問演習⑧ (■)	×
	1 次完成答練① 経営法務	○	2 次直前演習①	○
	1 次完成答練① 中小企業経営・政策	○	2 次直前演習②	○
	1 次完成答練② 企業経営理論	○	2 次直前演習③	○
	1 次完成答練② 財務・会計	○	2 次直前演習④	○
	1 次完成答練② 運営管理	○	2 次直前演習⑤	○
	1 次完成答練② 経済学・経済政策	○	2 次直前演習⑥	○
	1 次完成答練② 経営情報システム	○	2 次直前演習⑦	○
	1 次完成答練② 経営法務	○	2 次直前演習⑧	○
	1 次完成答練② 中小企業経営・政策	○	2 次直前演習⑨	○
2 次 入 門 編	2 次直前演習⑩	○	2 次直前演習⑪	○
	2 次直前演習⑫	○		

(■) 1.5 年本科生 (25・26 年目標) のみ。

\*最終締切日：1 次試験対策は 2026/7/17 まで、2 次試験対策は 2026/10/5 までに TAC に到着しない場合、本試験までに返却できませんのでご注意ください。

\*2 次試験対策の答案で 2026/10/10 (土) 以降に TAC に届いた答案は、添削結果及び全体得点データ（全体成績表）がマイページにて閲覧できない場合がございますので、ご了承ください。

## 6 オンラインライブ通信講座の受講について

オンラインライブ通信講座は、学習プラットフォーム「Schoo Swing」（スクースイング）を使用して講義をご受講いただきます。

Schoo Swingへの登録、ログイン・操作方法、講義視聴についての詳細は、別冊の「TAC 利用ガイド」⇒「通信メディア編」⇒「**4 Schoo Swing での受講方法**」に掲載しておりますので、必ずご確認ください。

### ◆講義当日にライブ配信に参加できなかった場合

Schoo Swing内の各講義コンテンツに表示されるアーカイブ配信をご視聴ください。

※別途有料（30,000円）で、Web フォローをお申込みいただけます。Web フォローは、TAC WEB SCHOOLでの視聴となり、Web 通信講座の講義が配信されます。（講義配信予定は、ホームページ掲載の日程表でご確認ください。）

※Web フォローをご利用になる場合は、お申込みの前に必ず下記 TAC ホームページ内「TAC WEB SCHOOL」にて動作環境および、無料デモ体験版の動作をご確認ください。  
<https://portal.tac-school.co.jp/>

### ◆TAC WEB SCHOOL でご受講いただく講義について

1・2次ストレート本科生 PLUS、1・2次ストレート本科生、1・2次速修本科生は、Schoo Swingでのご受講講義とは別に、下記の講義を TAC WEB SCHOOL で各自ご受講いただきます。

講義名	配信開始日
2次基本演習①②③④	12/20（土）
2次過去問演習①②③④	2026/2/18（水）

※講義内容・使用教材については、通学・通信メディア共通編「**2講義・教材について**」（P.3～）をご確認ください。

※「講義サポート動画」（1次基本講義とあわせて視聴）、「1次公開模試解説」「2次公開模試解説」についても、TAC WEB SCHOOL でご受講ください。

講師急病等による休講、配信当日や配信中にトラブルが発生した際の対応等を含め、ご受講に際しての重要なご連絡を TAC WEB SCHOOL マイページに掲載いたします。適宜 TAC WEB SCHOOL をご確認いただきますようお願いいたします。

**中小企業診断士講座**

REGISTERED MANAGEMENT CONSULTANT

**REGISTERED MANAGEMENT CONSULTANT**

**オリエンテーション編**

**TAC**

# 1 中小企業診断士試験について

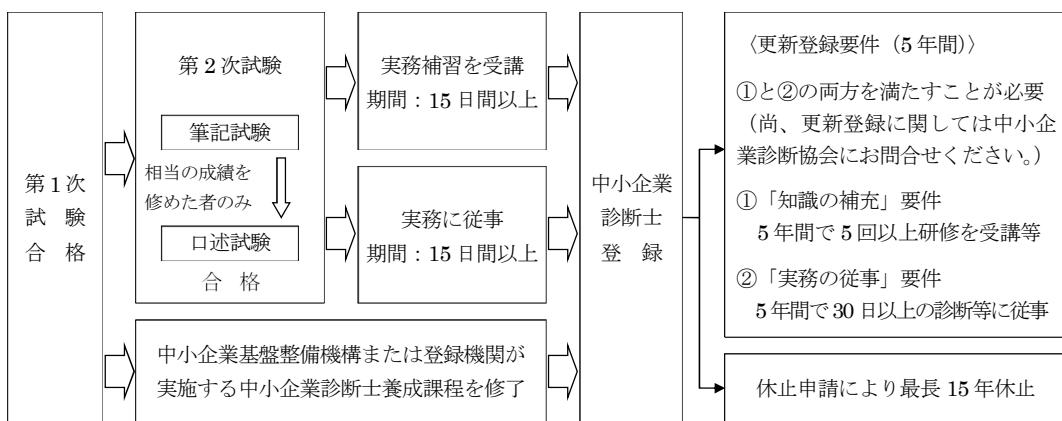
## 1. 中小企業診断士試験の概要

中小企業診断士になるまでの道筋は以下のとおりです。

この流れに沿って、それぞれの概要を次に説明していきます。

なお、試験の概要是変更となる場合があるため、必ず受験する年度の試験案内・申込書にて詳細も含めてご確認をお願いします。

### 診断士登録までの流れ（令和7年度時点）



※中小企業診断士養成課程、中小企業診断士の登録更新要件・休止については「中小企業庁」のWebサイトをご覧ください。

### 試験比較（令和7年度時点）

	第1次試験	第2次筆記試験	第2次口述試験
試験日	例年8月初旬の 土・日曜日（2日間）	例年10月下旬の 日曜日	例年1月中旬～1月下旬の 日曜日
合格発表	例年9月上旬	例年1月中旬～1月下旬	例年1月下旬～2月上旬
試験形式	択一式（マークシート）	記述式	面接形式
科目数	7科目	4科目	—
受験資格	特になし	当該年度および前年度の第1次試験合格者（全科目）	当該年度の第2次筆記試験合格者
受験地	全国10地区 (札幌・仙台・東京・名古屋・金沢・大阪・広島・松山・福岡・那覇※1)		
合格基準	免除科目を除く全科目の総点数の60%以上であつて、かつ1科目でも満点の40%未満のないことを基準とし、試験委員会が相当と認めた得点比率とする。総点数で不合格の場合、科目ごとに合格が判定される（満点の60%を基準として、試験委員会が相当と認めた得点比率）。 3年内に全ての科目に合格することが必要。	総点数の60%以上。 ただし1科目でも40%未満の科目があれば不合格。	評定が60%以上。
科目合格	あり	なし	—
科目免除	あり	なし	—

※1 金沢・松山・那覇は第1次試験のみ（令和7年度例）。

## (1) 第1次試験

### ① 試験科目

次の7科目が2日間に分けて実施されます。

第1次試験科目一覧

科 目	時 間	配 点
経済学・経済政策	60分	100点
財務・会計	60分	100点
企業経営理論	90分	100点
運営管理	90分	100点
経営法務	60分	100点
経営情報システム	60分	100点
中小企業経営・政策	90分	100点
計	510分	700点

### ② 試験日程

受験日：8月初旬の土・日曜日（令和7年度例：8月2日(土)・3日(日)）

合格発表日：9月上旬（令和7年度例：9月2日(火)）

### ③ 受験資格

年齢、性別、学歴等に制限はありません。

### ④ 合格の有効期間

第1次試験合格の有効期間は、2年間です。したがって、合格年度とその翌年度の2回に限り第2次筆記試験を受験できます。

平成12年度以前の第1次試験合格者については、1回に限り第1次試験を免除されて第2次試験を受験できます。（期間の限定はありません。ただし、平成13年度以降に第1次試験に合格して第2次筆記試験を受験した方は除きます。また、平成18年度以降中小企業診断士養成課程を受講した方も除きます。）

## (2) 第2次筆記試験

### ① 試験科目

筆記試験は、『経営革新・改善』、『新規事業開発（既存事業の再生を含む）』などのなかから、次のように出題されます。

### 第2次試験科目・出題内容一覧

試験科目	出題事例	時間	配点
中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅰ	『組織（人事を含む）を中心とした経営の戦略および管理に関する事例』	80分	100点
中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅱ	『マーケティング・流通を中心とした経営の戦略および管理に関する事例』	80分	100点
中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅲ	『生産・技術を中心とした経営の戦略および管理に関する事例』	80分	100点
中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅳ	『財務・会計を中心とした経営の戦略および管理に関する事例』	80分	100点

※試験科目と出題事例の関係は明文化されてはいませんが、過去の例では全て上記のとおり出題されています。

### ② 試験日程

試験日：10月下旬の日曜日（令和7年度例：10月26日（日））

筆記試験合格発表日：1月中旬～1月下旬

（令和7年度例：令和8年1月14日（水））

### ③ 受験資格

第2次試験を受験できるのは次のいずれかの方です。

- (1) 当該年度または前年度の第1次試験合格者
- (2) 平成12年度以前の第1次試験合格者については、1回に限り第1次試験を免除されて第2次試験を受験できます。（期間の限定はありません。ただし、平成13年度以降に第1次試験に合格して第2次試験を受験した方は除きます。また、平成18年度以降中小企業診断士養成過程を受講した方も除きます。）

### ④ 合格の有効期限

「口述試験を受ける権利」は、第2次筆記試験に合格した当該年度に限り有効です。

※第1次試験合格率において、第2次試験の筆記試験に合格した方が口述試験に不合格となった場合、翌年度の第2次試験は筆記試験から受験しなければなりません。

### (3) 第2次口述試験

#### ① 試験内容

試験時間は1人当たり約10分間、面接官2人対受験者1人の面接形式で実施されます。

口述試験では、第2次筆記試験の事例問題に登場する企業について、筆記試験とは異なる角度で問われます。

尚、口述試験を受験するに当たっては、一切の資料・書籍等を見ることができません。

#### ② 試験日程

試験日 1月中旬～1月下旬（令和7年度例：令和8年1月25日（日））

合格発表日 1月下旬～2月上旬（令和7年度例：令和8年2月4日（水））

#### ③ 受験資格

口述試験は、筆記試験にて相当の成績を修めた者のみが受けることができます。

#### ④ 合格の有効期限

第2次試験合格の有効期間は3年間です。

（3年内に実務補習または実務従事を終え、登録の手続きを取る必要があります。）

## 補足 試験制度 詳細情報

### 1. 合格率

《第1次試験》

	申込者数	受験者数 (A)	合格者数 (B)	合格率 (B)/(A)
令和2年度	20,169人	11,785人	5,005人	42.5%
令和3年度	24,495人	16,057人	5,839人	36.4%
令和4年度	24,778人	17,345人	5,019人	28.9%
令和5年度	25,986人	18,621人	5,521人	29.6%
令和6年度	25,317人	18,209人	5,007人	27.5%

《第2次試験》

	申込者数	筆記試験の受験者数 (A)	口述試験を受験する資格を得た方の数	合格者数 (B)	合格率 (B)/(A)
令和2年度	7,082人	6,388人	1,175人	1,174人	18.4%
令和3年度	9,190人	8,757人	1,605人	1,600人	18.3%
令和4年度	9,110人	8,712人	1,632人	1,625人	18.7%
令和5年度	8,601人	8,241人	1,557人	1,555人	18.9%
令和6年度	8,442人	8,119人	1,517人	1,516人	18.7%

<中小企業診断協士協会連合会ホームページのデータをもとに作成>

### 2. 第1次試験他資格等保有による科目免除

※第1次試験は、下記の方については一部の科目が申請により免除されます。

科 目 免 除 対 象 者	免 除 科 目
大学等の経済学の教授、准教授・旧助教授（通算3年以上）	
経済学博士	
公認会計士試験または旧公認会計士試験第2次試験において経済学を受験して合格した者	経済学・経済政策
不動産鑑定士、不動産鑑定士試験合格者、不動産鑑定士補、旧不動産鑑定士試験第2次試験合格者	
公認会計士、公認会計士試験合格者、会計士補、会計士となる有資格者	財務・会計
税理士、税理士法第3条第1項第1号から第3号までに規定する者	
弁護士、司法試験合格者、旧司法試験第2次試験合格者	経営法務
技術士（情報工学部門登録者に限る）、情報工学部門に係る技術士となる資格を有する者	
次の区分の情報処理技術者試験合格者 (ITストラテジスト、システムアーキテクト、応用情報技術者、システムアナリスト、アプリケーションエンジニア、システム監査、プロジェクトマネージャ、ソフトウェア開発、第1種、情報処理システム監査、特種)	経営情報システム

### 3. 第1次試験科目合格パターン例

ここに記載する科目合格のパターンは、一例です。

〈中小企業診断士第1次試験案内の記載内容をもとに作成〉

#### (1) 科目合格による免除が認められるパターン例

- ① 科目合格の場合は、翌年度と翌々年度の第1次試験を受験する際、申請により当該科目が免除されます。
- ② [ ] の掛かった年に第2次試験を受験することができます。

○：受験して合格 ×：不合格または欠席 免除：申請により科目免除

#### 〈科目合格による免除が認められるパターン例 1〉

科 目	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
A 経済学・経済政策	○	免除	免除		
B 財務・会計	×	×	○		
C 企業経営理論	×	○	免除		
D 運営管理（オペレーション・マネジメント）	○	免除	免除		
E 経営法務	○	免除	免除		
F 経営情報システム	×	×	○		
G 中小企業経営・中小企業政策	×	○	免除		
補 足 説 明	*1	*2	*3		

\*1 1年目：7科目受験して3科目合格

\*2 2年目：3科目免除申請のうえ、4科目受験して2科目合格

\*3 3年目：5科目免除申請のうえ、2科目受験して2科目合格 これにより第1次試験合格

#### 〈科目合格による免除が認められるパターン例 2〉

科 目	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
A 経済学・経済政策	○	免除	免除		
B 財務・会計	×	×	○		
C 企業経営理論	×	○	免除		
D 運営管理（オペレーション・マネジメント）	○	免除	免除		
E 経営法務	他資格免除	他資格免除	他資格免除		
F 経営情報システム	×	×	○		
G 中小企業経営・中小企業政策	×	○	免除		
補 足 説 明	*1	*2	*3		

\*1 1年目：他資格等保有による1科目免除申請のうえ、6科目受験して2科目合格

\*2 2年目：他資格等保有による1科目免除申請と科目合格による2科目免除申請のうえ、4科目受験して2科目合格

\*3 3年目：他資格等保有による1科目免除申請と科目合格による4科目免除申請のうえ、2科目受験して2科目合格 これにより第1次試験合格

〈科目合格による免除が認められるパターン例3〉

科 目	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
A 経済学・経済政策	○	免除	免除	○	
B 財務・会計	×	×	○	○	
C 企業経営理論	×	○	免除	○	
D 運営管理（オペレーション・マネジメント）	○	免除	免除	○	
E 経営法務	○	免除	免除	○	
F 経営情報システム	×	×	○	○	
G 中小企業経営・中小企業政策	×	○	免除	○	
補 足 説 明	*1	*2	*3	*4	

\*1 1年目：7科目受験して3科目合格

\*2 2年目：3科目免除申請のうえ、4科目受験して2科目合格

\*3 3年目：5科目免除申請のうえ、2科目受験して2科目合格 これにより第1次試験合格

\*4 4年目：1回で7科目すべて合格。2回目の第1次試験合格

〈科目合格による免除が認められるパターン例4〉

科 目	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
A 経済学・経済政策	○	×	免除		
B 財務・会計	×	○	免除		
C 企業経営理論	×	○	免除		
D 運営管理（オペレーション・マネジメント）	○	×	免除		
E 経営法務	○	×	免除		
F 経営情報システム	×	○	免除		
G 中小企業経営・中小企業政策	×	○	免除		
補 足 説 明	*1	*2	*3		

\*1 1年目：7科目受験して3科目合格

\*2 2年目：7科目受験して4科目合格 1年目に科目合格した3科目の免除申請をしていないため、第1次試験合格にはならない。

\*3 3年目：7科目すべてを免除申請 これにより第1次試験合格

(この場合は、3年目の第1次試験申込受付期間内に、全科目免除を申請のうえ、受験申込手続きを行うことが必要です。)

## (2) 科目合格による免除が認められないパターン例

- ① 第1次試験に合格すると、それまでの科目合格による科目免除の申請資格はなくなります。
  - ② 「免除」の文字の上の×印は、免除申請できないことを示しています。
  - ③ [ ] の掛かった年に第2次試験を受験することができます。
- ：受験して合格 ×：不合格または欠席 免除：申請により科目免除

### 〈科目合格による免除が認められないパターン例1〉

科 目	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
A 経済学・経済政策	○		免除		
B 財務・会計	○		免除		
C 企業経営理論	○		免除		
D 運営管理（オペレーション・マネジメント）	○		免除		
E 経営法務	○		免除		
F 経営情報システム	○		免除		
G 中小企業経営・中小企業政策	○		免除		
補 足 説 明	*1		*2		

\*1 1年目：7科目すべて合格 第1次試験合格

\*2 3年目：1年目に第1次試験合格のため免除申請はできない

### 〈科目合格による免除が認められないパターン例2〉

科 目	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
A 経済学・経済政策	○	免除	免除		
B 財務・会計	○	免除	免除		
C 企業経営理論	×	○	免除	免除	
D 運営管理（オペレーション・マネジメント）	○	免除	免除		
E 経営法務	×	○	免除	免除	
F 経営情報システム	×	×	○	免除	免除
G 中小企業経営・中小企業政策	○	免除	免除		
補 足 説 明	*1	*2	*3	*4	*5

\*1 1年目：7科目受験して4科目合格

\*2 2年目：4科目免除申請のうえ、3科目受験して2科目合格

\*3 3年目：6科目免除申請のうえ、1科目受験して合格 これにより第1次試験合格

\*4 4年目：3年目に第1次試験合格となったため、2年目または3年目に合格した科目の免除申請はできない

\*5 5年目：3年目に第1次試験合格となったため、3年目に合格した科目の免除申請はできない

### (3) 第1次試験の合格とならないパターン例

- ① 3年目・4年目・5年目のように、免除申請を行わず、受験して不合格となった場合は第1次試験の合格にはなりません。
- ② の掛かった年に第2次試験を受験することができます。  
○：受験して合格 ×：不合格または欠席 免除：申請により科目免除

科 目	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
A 経済学・経済政策	○	免除	×	○	免除	○	
B 財務・会計	○	免除	免除	○	免除	免除	
C 企業経営理論	×	○	免除	免除	○	免除	
D 運営管理(オペレーション・マネジメント)	○	免除	免除	○	免除	免除	
E 経営法務	×	○	免除	免除	○	免除	
F 経営情報システム	×	×	○	×	免除	○	
G 中小企業経営・中小企業政策	○	免除	免除	○	×	免除	
補 足 説 明			*1	*2	*3	*4	

\*1 3年目：5科目免除申請のうえ、2科目受験して1科目合格 1年目に科目Aは合格しているが、免除申請をしていない(○部分)ため、第1次試験合格にはならない

\*2 4年目：2科目免除申請のうえ、5科目受験して4科目合格 3年目に科目Fは合格しているが、免除申請をしていない(○部分)ため、第1次試験合格にはならない

\*3 5年目：4科目免除申請のうえ、3科目受験して2科目合格 4年目に科目Gは合格しているが、免除申請をしていない(○部分)ため、第1次試験合格にはならない

\*4 6年目：5科目免除申請のうえ、2科目受験して2科目合格 これにより第1次試験合格

## 4. 実務従事・実務補習

経済産業大臣に中小企業診断士として登録を受けるには、登録の申請の日前3年以内に第2次試験に合格し、次の(1)のいずれかの実務に従事すること、または(2)のいずれかの実務補習を合計15日以上受けることが必要です。

### (1) 診断・助言業務

- ① 国、都道府県、中小企業基盤整備機構または都道府県等中小企業支援センターが行う省令の規定に基づく経営の診断・助言業務
- ② 中小企業基盤整備機構または都道府県等中小企業支援センターが行う省令の規定に基づく窓口相談などの業務
- ③ 中小企業に関する団体が行う中小企業の診断・助言または窓口相談などの業務
- ④ その他の団体または個人が行う診断・助言または窓口相談などの業務
- ⑤ 中小企業の振興に関する国際協力などのための海外における業務

## (2) 実務補習

- ① 登録実務補習機関による実務補習
- ② 中小企業基盤整備機構、都道府県等中小企業支援センターにおける実務補習

## 5. 登録・更新

実務從事・実務補習を修了すると、所定の認定手続を経て、中小企業診断士として登録されます。

- (1) 登録の有効期間：5年間。5年ごとに登録を更新します。
- (2) 更新の要件：登録を更新するためには、登録有効期間内に、以下の①、②の両方を満たす必要があります。

### ① 「知識の補充」に関する要件

登録有効期間内に次のいずれかを5回以上行うこと。

#### 1) 理論政策更新研修

理論政策更新研修機関が行う診断または助言に関する知識の補充のための研修または中小企業基盤整備機構が行う研修を修了したこと。

#### 2) 論文審査

理論政策更新研修機関が行う診断または助言に関する論文の審査に合格したこと。

#### 3) 研修の指導

理論政策更新研修について、その1回の日程を通じて指導を行ったこと。

### ② 「実務の從事」に関する要件

登録有効期間内に次のいずれかの中小企業の経営診断実務に合計30日以上從事すること。

#### 1) 診断・助言業務

i 国、都道府県、中小企業基盤整備機構または都道府県等中小企業支援センターが行う診断・助言業務

ii 中小企業基盤整備機構または都道府県等中小企業支援センターが行う窓口相談などの業務

iii 中小企業に関する団体が行う中小企業の診断・助言または窓口相談などの業務

iv その他の団体または個人が行う診断・助言または窓口相談などの業務

v 中小企業の振興に関する国際協力などのための海外における業務

#### 2) 実務補習の受講

#### 3) 実務補習の指導

## 6. 中小企業診断士の実務の休止について

当面中小企業に対する経営診断の実務に従事する機会がない場合について、登録有効期間内に休止を申請することで、休止申請日の翌月 1 日から 15 年を限度に登録有効期間を延長することができます。

なお、登録を再開するには、申請の日前 3 年以内に、次の①、②の両方を満たす必要があります。

- ① 知識の補充として更新研修を 5 回受講する。
- ② 試験合格者と同様に実務または実務補習に 15 日以上従事または受講する。

## 7. 登録の拒否について

次のいずれかに該当する場合は、中小企業診断士の登録を受けることができません。

- ① 未成年者
- ② 精神の機能の障害により中小企業診断士の業務を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者
- ③ 破産者であって復権を得ないもの
- ④ 禁固以上の刑に処せられた者であって、その執行を終わり、または執行を受けることがなくなった日から 3 年を経過しないもの
- ⑤ 国会職員法、国家公務員法または地方公務員法の規定により懲戒免職の処分を受けた者であって、その処分を受けた日から 3 年を経過しないもの
- ⑥ 弁理士法、公認会計士法、弁護士法、税理士法または技術士法の規定により登録の抹消、取り消し若しくは消除の処分（本人に登録を存続させる意思がないと認められることまたは本人が当該業務を廃止したことを理由とするものを除く。）を受け、または業務を禁止された者であって、その処分を受けた日から 3 年を経過しないもの
- ⑦ 正当な理由がなく、中小企業診断士の業務上取り扱ったことに関して知り得た秘密を漏らし、または盗用した者であって、その行為をしたと認められる日から 3 年を経過しないもの
- ⑧ ①～⑦に掲げるもののほか、中小企業診断士の信用を傷つけるような行為をした者であって、その行為をしたと認められる日から 3 年を経過しないもの

**中小企業診斷士講座**

REGISTERED MANAGEMENT CONSULTANT

**REGISTERED MANAGEMENT CONSULTANT**

**日 程 表**

**TAC**

## 1. 日程表について

各コースの「教室講義日程」「利用開始日」「教材送付日」については、以下のホームページに掲載いたしますのでご確認ください。

■ T A C ホームページ 「講義日程のご案内」

[https://www.tac-school.co.jp/kouza\\_chusho/chusho\\_nittei\\_odd.html](https://www.tac-school.co.jp/kouza_chusho/chusho_nittei_odd.html)



ご存知ですか? TAC会員なら受講料が5%OFF!

# NEXT割引

5%  
OFF

こんな人に  
オススメ

- 学習した知識を活かしダブルライセンスを狙いたい
- 上位資格をめざし更なるステップアップをしたい
- 時間の確保ができる今新たな資格に挑戦したい

TACでは、他の資格に意欲的に挑戦する受講生の方々を応援します。

当割引制度は、次の資格講座を受講する際に通常受講料の5%OFFでお申込みできる制度です。多くのTAC会員が活用している当制度をぜひご利用ください。

お申込みは受付窓口または  受付で!  
TACお申込みサイト

対象者・  
対象コース

- 「0」または「9」で始まる10桁の会員番号をお持ちのTAC会員の方で、且つ2014年4月1日以降のTACのお申込履歴がある方が対象となります。
- NEXT割引は各資格講座の各受講メディアの「本科生」「パック生」「コース生」を対象とさせていただきます。NEXT割引の対象になるかどうか不明の場合は各校受付窓口に直接お問い合わせください。

利用方法

- 各校受付窓口でお申込みされる際は、会員証をご持参ください。
- e受付でお申込みされる際は、登録手続きが必要となります。また、割引適用には条件があります。詳細はe受付サイトの「割引について」をご確認ください。
- 郵送でお申込みされる際は、必ず会員証のコピーを封書に同封してください。

注意事項

※同一講座内の再受講や継続受講で当割引制度を利用することはできません。またTACで実施する他の割引制度との併用はできません。なお、「早期申込割引」などの、どなたでもご利用いただける期間限定の「キャンペーン受講料」との併用は可能です。

※NEXT割引の対象者および割引率は、予告なく変更となる場合がございます。

※すでにお申込みされた講座・コースについて、遡っての返金等の対応はいたしかねます。

資格の学校 TAC

2021年10月現在

# ✿お問い合わせ先一覧✿

「TAC利用ガイド」「講座別受講ガイド」「TAC WEB SCHOOL」等をご覧の上でご不明な点がございましたら、お手数ですがお問い合わせをお願いいたします。  
なお、よくあるお問い合わせをまとめたサイトもご用意していますので、ご参照ください。

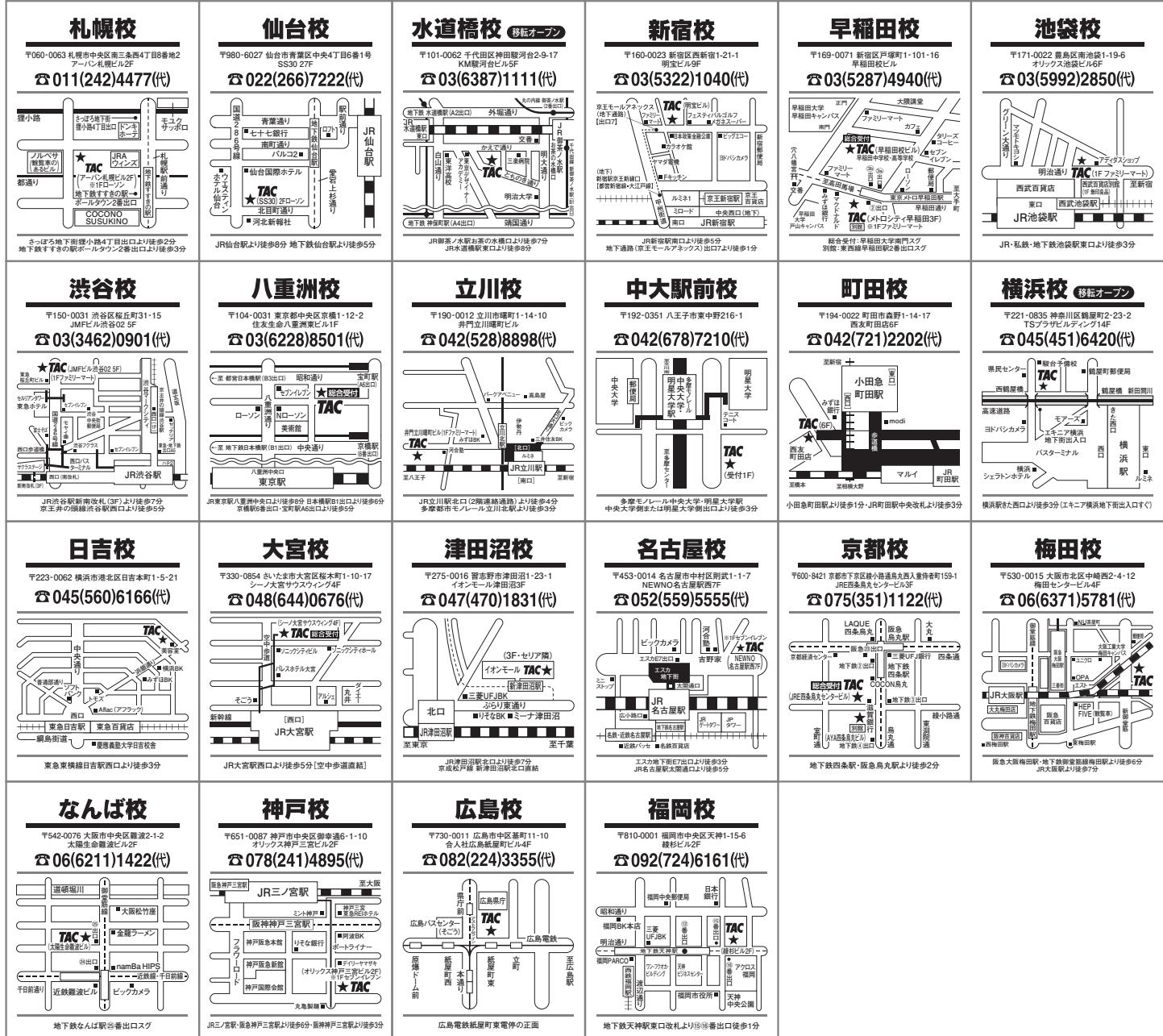
## お問い合わせ窓口一覧・よくあるご質問 <https://www.tac-school.co.jp/toiawase>

お問い合わせ内容	お問い合わせ先	営業時間※
教材内容、学習内容の質問について	通学メディア・通信メディア共通編「 <u>5質問・相談について</u> 」をご参照ください。	
TAC WEB SCHOOL のマイページ登録について	0120-551-980 ws@tac-school.co.jp	月～土・祝 10:00～17:00 ※日曜日除く
TAC WEB SCHOOL のWeb・音声ダウンロード操作について	0120-065-355 ws@tac-school.co.jp	
通信講座の教材発送について	0120-509-194 tushin@tac-school.co.jp	
通信添削答案・質問カード返却、教育訓練給付制度添削課題について	03-5276-8534	月～金 10:00～17:00 ※祝日除く
受講申込について	各校受付 TAC MAPを参照してください。 ※インターネット申込はこちら <a href="https://ec.tac-school.co.jp/">https://ec.tac-school.co.jp/</a>	※校舎により営業時間が異なります。 詳細は各校舎のHPをご確認ください。
各講座パンフレットの請求について	TACカスタマーセンター 0120-509-117	10:00～17:00
TAC出版書籍のご購入について	TAC出版 「CYBER BOOK STORE」 <a href="https://bookstore.tac-school.co.jp/">https://bookstore.tac-school.co.jp/</a>	—

※電話による学習内容の質問は受け付けておりません。

※営業時間は変更となる場合もございますのであらかじめご了承ください。

# TAC MAP (2025年8月現在)



## [TAC提携校]

<b>群馬校</b> 中央総合学院内 〒371-0805 前橋市南町3-14-1 JR前橋駅南口より徒歩2分 ☎ 027(226)1823(代)	<b>富山校</b> 富山情報ビジネス専門学校 〒939-0341 富山市城ヶ崎576 B館フローランゲンター内 JR小杉駅北口より徒歩8分 ☎ 0766(55)5513(代)	<b>金沢校</b> エルアンドエルシステム北陸 〒921-8044 米沢市赤坂町7-28-1 JR西金沢駅より徒歩3分 ☎ 076(245)7605(代)	<b>岡山校</b> 穴吹カレッジサービス 〒700-0023 岡山市北区前町1-8-18 イコニココト5F JR岡山駅東口より徒歩3分 ☎ 086(236)0225(代)	<b>福山校</b> 穴吹カレッジキャリアアップスクール 〒720-0066 衛川郡高松町中央通11-6 福山駅構内サンテーションララズ福山3F JR福山駅より徒歩4分 ☎ 084(991)0250(代)
<b>徳島校</b> 穴吹カレッジキャリアアップスクール 〒770-0832 徳島市寺島町東3-12-7 マスダビル3F JR徳島駅より徒歩1分 ☎ 088(653)3588(代)	<b>大分校</b> 学校法人府内学園内 〒870-0839 大分市金池町1-8-5 府内エデュケーションビル内 JR大分駅より徒歩3分 ☎ 097(546)5224(代)	<b>熊本校</b> 税理士法人 東京会計グループ 〒860-0844 熊本中央区水道町9-29 フィレットビル水道町 市電水道町駅停り場徒歩1分 ☎ 096(323)3622(代)	<b>宮崎校</b> 宮崎ビジネス公務員専門学校内 〒880-0812 宮崎市高千穂通2-2-27 JR宮崎駅より徒歩4分 ☎ 0985(22)6881(代)	<b>沖縄校</b> • 那覇校舎 〒902-0067 那覇市安里44-4 安里三叉路より徒歩1分 ☎ 098(864)2670(代) • 中部校舎 098(931)1661 〒904-0022 沖縄県那覇市3-7-33

最新の情報は  
HPにてご確認ください。

TAC 校舎

検索



校舎ごとに営業時間等が異なります。詳しくは各校舎までお問い合わせください。